

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2013 夏号
No. 61



サンショウウオ発見!



カルバート清掃頑張りました!!

作業前

完了!

作業中...

ネコ走りの修繕作業実施!

センターでは、ツシマヤマネコ応援団と協働して、上対馬町小鹿のカルバート（道路下の排水溝）にネコ走りを設置しています。これはヤマネコの交通事故現場の周辺環境を調査した結果、カルバートがヤマネコをはじめ野生動物の移動経路になっていることが分かったため、水が溜まっている時期でも動物が通行できるように、コンクリートブロックで足場を確保したものです。

二〇一〇年二月にネコ走りを設置して以降、センターではモニタリング調査により、ヤマネコやテンなどの動物がネコ走りを利用していることを確認しています。しかし、設置から三年が過ぎ、大雨による流水や土砂によってコンクリートブロックが一部崩れていました。そこで、二〇一三年六月八日、センターとツシマヤマネコ応援団は、ネコ走りの修繕作業を行うことにしました。

当日は対馬市と対馬振興局の職員の方にもご参加いただき、カルバートに溜まった土砂を掻き出してから崩れていたネコ走りの位置を元に戻す作業を行いました。また作業中にはツシマサンショウウオやヤゴ、オタマジャクシなど様々な生き物を見つけました。カルバートにできた水溜まりは水生生物にとって貴重な生息環境になっているようです。

これからもヤマネコたちがカルバートのネコ走りを利用することで、道路上で交通事故に遭う危険性が少しでも低くなることを期待しています。

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。

対馬の環 News



稲作研究会オーナー制度田植え♪

六月九日に稲作研究会オーナー制度の一回目のイベント、田植えを行いました。今回のイベントでは六組のオーナーさんが参加してくださいました。

初めに農家さんにレクチャーをして頂き、稲作研究会のメンバーと一緒に手植え体験を行いました。参加してくれた子ども達も上手に植えることができました。他にも肥料まきや、子ども達は田植え機にも乗せてもらって田植えを満喫していました。今から収穫が楽しみですね。最後に自分たちで田植えをした田んぼの畦にオーナーさん一人一人の看板を立てて田植え体験は終了しました。

田植え以外にもバードウォッチング公園近くのピオトープで生き物観察を行い、みなさん、網と虫かごを持って夢中で生き物を探していました。観察した後はちゃんと生き物達をピオトープに戻しました。そして最後にバードウォッチング公園でB B Qも行い、参加して下さったオーナーのみなさんはとても満足して下さった様子でした。



一列になって植えます♪



どんな生き物があるかな？



頑張って植えています♪

ツシマヤマネコTシャツで事故防止♪

五月二三日に対馬市の財部能成市長と市体育協会の佐土原忠雄会長に「ヤマネコ事故防止Tシャツ」を贈呈しました。その後、六月四日までは同市体育協会加盟の旧六町の各駅伝部に合計四八枚を届けました。

市役所で行われた贈呈式では対馬市長、体育協会長にも早速着用していただきました。財部市長には贈呈式後の定例会見でもTシャツを着たまま会見していただき、ありがとうございました。

昨年度は交通事故で死んだヤマネコが十三頭とワースト記録を大きく更新した一年でした。特に夕暮れ時や明け方の時間帯は事故が起こりやすく要注意です。このTシャツは、ライトに反射する塗料がプリントされていますので、各駅伝部の方々には練習の際にぜひTシャツを着用してもらい、ヤマネコの交通事故防止の為に「移動式の看板」となっていたらと思います。

対馬の各地でこのTシャツを着て練習されている方々の姿を目にするのをすごく楽しみにしています。ドライバーの皆様には、対馬路を走るランナーにも、ヤマネコにも優しい運転をお願いします。



着用イメージ図



贈呈したヤマネコTシャツ

下島便り①

ヤマネコ!? 目撃情報



こんにちは、藤原事務室のよしだです。下島に新しく職員が来たということで、下島から様々な情報発信をしていきます！初回はヤマネコのお話です！

住民の方から2件目撃情報を頂きました。1件目は事務所近く。周辺を探索しましたが、姿や音は見られず…。別の日、今度は僕が同じ個体らしき姿を発見。車のライトを当てると確かにヤマネコ似てましたが、撮影した写真を確認するとイエネコでした。

2件目は小浦。撮影された写真を拝見すると、こちらも残念ながらイエネコでした。今はまだヤマネコ情報は少ない下島ですが、関心を持って情報を提供して下さる方がいれば、ヤマネコ情報を更新できると思っています。イエネコとの見分け方は難しい時もあり、実際に野生のヤマネコを見る機会が少ないですが、ヤマネコセンターで福馬君を観察できます。いつか出会うだろうヤマネコの特徴を、福馬君でぜひ覚えてくださいわ。

また、下島で「おやっ？」と思われたら、是非ご連絡ください！



耳の裏に白い斑点があるのがヤマネコ！

センター用語

ピオトープ…生物が棲みやすいように整えた環境のこと。

やまねこ News

ヤマネコの野生復帰と検査捕獲♪

二〇一二年十一月に上県町佐護の民家で犬小屋に迷い込んだところを保護され、二〇一二年一月に野生復帰させた若いオスのヤマネコは、二〇一三年五月に行った検査捕獲の結果、健康状態に問題ないことを確認しました。

野生復帰から一年四ヶ月、この間に追跡調査や自動撮影カメラによるモニタリング調査を継続しつつ、二回の検査捕獲を実施して体の成長具合や健康状態等を確認してきました。その結果、保護当時はまだ仔ヤマネコだったものの、今では立派な体格に成長して野生下で元気に暮らしていることが確認できたためモニタリング調査を終了することになりました。

また、二〇一三年一月に上県町大地の鶏小屋で錯誤捕獲されたオスのヤマネコは、傷病等もなく立派な体格をした大人のヤマネコだったため、保護から四日後に野生復帰させました。その後、五月には検査捕獲を行い、野生復帰後の暮らしでも健康状態に問題がないことが確認できたため、モニタリング調査を終了しました。



放獣前のヤマネコの様子



検査中のヤマネコ



検査捕獲中のヤマネコの様子

五根緒の畑にて仔ヤマネコ二頭発見！

「農作業をしていたら、一頭のヤマネコが急に畑に飛び出してきて、山へ逃げていきました。出てきた場所を確認したら、仔ヤマネコが二頭います。どうしたらいいでしょうか。」

二〇一三年六月七日、上対馬町五根緒の住民の方からこんな電話を頂きました。電話では、そつと現場を離れて頂くようお願いします。センター職員がすぐに現場へ駆けつけました。現場を確認すると、すでに仔ヤマネコの姿はありません。おそらく先に飛び出していった母ネコが戻ってきたので、くわえて山へと連れ帰ったのでしよう。

今回、発見者の方の協力と迅速な対応により、仔ヤマネコは無事に母ネコの元へ戻る事ができました。

みなさん、ヤマネコは案外身近な所で子育てをしています。もしかしたら今度はあるたの畑やお庭でも…なんてことがあるかもしれません。もしも仔ヤマネコを見つけた時には、仔ヤマネコに触らず現場を離れ、すぐにセンターまでご連絡ください。母ネコが戻って来なかった場合には、保護の可能性もあります。ご協力宜しくお願いします。



ヤマネコの発見場所♪

畑の隅、藁と草の間のすき間、50cm×30cmほどのところに二頭の仔ヤマネコ。草には、鼠類のものと思われる毛が付着していた。

職員日誌 ⑱ 「日々、発見！！」

こんにちは、新人アクティブレんジャーの竹澤です。対馬に来て早4ヶ月が過ぎました。

対馬に来て初めての春は、満開の桜や菜の花、ヒトツバタゴ、色とりどりの花々に迎えられ、梅雨時期には川辺に揺れる幻想的な壁の光や、山に湧き立つもや、青々とした葉を日々伸ばす稲など、数え切れないくらいの姿にあらためて対馬の自然のすばらしさを感じました。

暑い夏の日差しも、さらさらとその光を反射させる青い海も、また素敵ですね。

対馬に来て、日々いろいろな季節を感じます。毎日対馬の魅力を発見、体感しています。

これから秋、冬と季節は変わってまた更に新たな面を知ることができると思うと、季節の移ろいが今からとても楽しみです！

アクティブレんジャー
竹澤 結希
(愛知県出身)



交通事故対策、舟志地区
ツシマヤマネコ応援団の
事務局を担当しています



木ムの花



佐護北里の風景



鶏和周辺で撮れた夕焼け

第13回ヤマネコ・クイズ

ヤマネコは夏と冬で体重が変動し、冬の方が重くなります。それはなぜでしょう？

センター News

としまの森 No.61 2013 夏号

イベント報告&情報

あじさい祭に参加しました!



クイズに挑戦中!

6月16日に佐護区であじさい祭が開催され、クイズラリーやヤマネコツアーを行いました。クイズラリーは82名もの子ども達がヤマネコクイズに挑戦し、ヤマネコツアーではセンター見学や、バックヤード見学、樟崎公園の灯台見学など盛り沢山の内容でした。



福馬のいる展示裏に行きました

田んぼの楽校、開催♪

昨年まで佐護小学校で行われていた田んぼの楽校ですが、今年度は佐須奈小学校3・4年生の児童のみなさんと佐護の田んぼで行いました。

泥んこ遊びでは、ゲームを通してヤマネコの適切な生息環境を学んでもらい、最後は顔まで泥だらけになりました。

佐須奈の子ども達は田んぼと関わる機会が少ないので、この機会にさまざまな体験をしてもらいたいと思います。



ヤマネコについて勉強中...

楽しい泥んこ遊び♪



大好評! やまねこ教室♪

センターでは、多くの方にツシマヤマネコについて「知ってもらおう」事が一番の保護への近道になると考え、日々様々な活動を行っており、小中学生を対象としたやまねこ教室もその一環です。4~6月は、3校でやまねこ教室を行いました!

対馬の指の手である子ども達に、対馬の自然、そしてツシマヤマネコについて楽しく学んでもらうため、これからも活動していきます!



仁田中学校の皆さん



鶏知中学校の皆さん



塩浦小学校の皆さん

編集後記
今年の夏はまた一段と暑くなりそうです。皆さんも夏の暑さには負けないように、水分補給はしっかり取ってくださいね♪



冬の福馬：夏の福馬

今日の一枚「福馬の衣替え」
センターで一般公開しているツシマヤマネコの福馬くん。実は彼、二つの顔を持つているのです。写真左が冬の福馬、写真右が夏の福馬です。同じヤマネコとは思えないくらい違いますよね!今の時期にしか会えない夏毛パージョンの福馬を見に是非センターにいらして

※リサイクル紙の活用: 紙へリサイクル可 この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料(30%以上)のみを使用しています。

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

さまざまな交通事故対策実施中!!

2013 秋・冬
No. 62



地域の方々と一緒に ツシマヤマネコ交通事故対策!

秋・冬にかけて、ツシマヤマネコは親離れの季節になり、交通事故が多くなる傾向にあります。

今年度は既に一〇月一〇日に上対馬町舟志で、十一月五日には峰町志多賀で、十一月二〇日には美津島町濃部で、交通事故が発生しています。(十一月二二日現在) そんな交通事故防止を呼びかけるため、ヤマネコセンターとツシマヤマネコ応援団との共催で「ツシマヤマネコ交通事故防止啓発ポスターコンクール」を今年度も開催しました。

夏期に作品を募集し、島内の小中学生の皆さんに描いて頂いた作品の中から優秀作品を選び、十一月四日に表彰式を行いました。どの作品も子どもたちのヤマネコへの交通安全の願いがこもった素晴らしい作品ばかりでした。優秀作品でクリアファイルを作成し、交通安全キャンペーンなどでドライブの皆さんにお配りします。

またヤマネコセンターでも、この秋冬には交通事故防止を呼びかける看板を掲示しながら夜間に緊急パトロールを行ったり、上県駅伝部の方々と一緒に佐護のミトドを走る交通事故防止ランニングを行ったり、ツシマヤマネコ応援団と一緒に点滅灯を設置するなど、さまざまな交通事故対策を行いました。ヤマネコの交通事故を一件でも減らせるように、今後とも可能な限り、多くの皆さんと交通事故対策を行っていきたいと思います。

秋も深まる暗い夜道、少し道路に注意を向けてみて下さい。もしかしたらあなたのすぐ側にヤマネコがいるかもしれません。ヤマネコに優しい運転は人にも優しい運転です。今後とも、安全運転への協力をよろしくお願いたします。

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。

※年末年始の休館日12/29～1/3

対馬の環 News



石原環境大臣が視察に対馬へ♪

八月二十八日に石原環境大臣が対馬市を訪問し、ヤマネコセンターや、国内外から多くのごみが漂着する海岸の漂着ごみの状況を視察しました。

また「ツシマヤマネコが暮らす対馬の自然と地域づくり」をテーマに、政府主催の「車座ふるさとトーク」が行われ、「ツシマヤマネコの保全活動、対馬の自然環境や地域づくりに関連する一五名の方々と石原大臣が対話し、ツシマヤマネコの保護活動やシカ、イノシシの害獣対策、対馬の保全などについて意見交換を行いました。



車座トーク終了後に♪

稲作研究会のオーナー、稲を刈る

一〇月一三日に稲作研究会オーナー制度の今年度最後のイベントである、稲刈りを行いました。田植えや生き物調査など述べ、四回のイベントを行ってきましたが、今回は収穫とあって今まで以上のオーナーさんが参加し、奮闘しながら無事稲刈りを終えました。

来年はあなたもオーナー制度に参加して一緒に活動してみませんか？皆さんからのご参加を楽しみに待っています！



オーナーの皆さん

田んぼの楽校最終章♪

佐須奈小学校の児童の皆さんと一年間活動してきた田んぼの楽校ですが、一〇月一六日の稲刈りで今年度の活動は無事終了しました。

普段何気なく食べているお米について、活動を通して学べたという貴重な経験を忘れず、今年度の活動は終了しましたが、これからも農業や自然に関心を持って、学んだ経験を生かして欲しいと思います。



上手に刈る事が出来ました♪



稲刈りの様子♪

蕎麦撒きをしました♪

八月三日にこの法人ツシマヤマネコを守る会の蕎麦撒きに参加してきました。

ネズミの餌となる蕎麦を撒くことで、ヤマネコの餌であるネズミが増え、ヤマネコにも大切な生息環境が作られる事に繋がります。



一列になって撒きます♪



作業中の様子♪

ヤマネコを守るためには、ヤマネコの餌を減らす、ヤマネコの生息環境を守る事が大切です。

～広がるヤマネコの環～

こんにちは、飯原事務室のよしげです。認知度が上がってきている鮎原し自然公園の施設。9月から工事に入り、ヤマネコを訓練させる大きなケージを6つ整備します。日本初・哺乳類の訓練施設、お楽しみに！
11月7日、対馬高校2年3組の皆さんからヤマネコぬいぐるみを寄贈頂きました。ありがとうございました！クラスの誰かをイメージしたそうで、可愛らしいマスコットキャラクターになること、間違いなしです。ヤマネコ教室をした学校の生徒さんたちに島内で会々と元気に挨拶をしてくれます。嬉しいですね。
ヤマネコの輪、下島の皆さんの笑顔と協力がたくさん詰まっています。これからもがんばります！
※現在、下島の新施設は工事中です。

第二回
下島だより♪

飯原事務室
自然保護官
吉田 裕司



お返しと頂いた
ヤマネコ
ぬいぐるみ♪



ヤマネコぬいぐるみ♪



お返しと頂いた
ヤマネコ
ぬいぐるみ♪

センター用語

ペアリング・・・繁殖のためにオスとメスを一緒にして交尾させること。

やまねこ News



来年の春まで
お楽しみに♪

施設名	飼育頭数		
	合計	♂	♀
福岡市動物園	8	4	4
井の頭自然文化園	3	2	1
よこはま動物園	3	2	1
富士サファリパーク	4	2	2
九十九島動物園	7	4	3
沖縄こどもの国	1	1	0
福岡市動物園	1	1	0
鳥取県立動物園	1	0	1
京都府動物園	1	0	1
合計：29頭飼育中			

二〇〇〇年、福岡市動物園において、ツシマヤマネコの飼育下繁殖に初めて成功しました。
それから一三年、実はこの数年繁殖がうまくいっていません。
そこで今年度からの取り組みとして環境省は、日本動物園水族館協会との連携を強化、飼育管理や繁殖に関する会議を実施して飼育下繁殖の成功に向けて、様々な議論を交わしました。
こうして完成した今年度の繁殖計画。ポイントが「個体の集約」です。
ペアリング機会を高めるため、繁殖の可能性が高い年齢の個体を、拠点となる動物園に集約し、メス一個体に対してペアリングできるオスを複数確保して繁殖に取り組むこととしたのです。
そして拠点となる施設は、九州に立地している、地理的に対馬に近く、気候条件等が似ており、多くのペアリングの組み合わせが可能な規模・構造の施設を有するといふ理由から、福岡市動物園と九十九島動物園に決まりました。
来年の春にはかわいい仔ネコ誕生の報告ができることを祈るばかりです。

ツシマヤマネコ大移動！

ヤマネコ野生復帰♪

二〇一二年一月三日に、上対馬町大浦の国道上で交通事故が原因で保護されたオスの亜成獣のヤマネコを、翌年六月二十九日に上対馬町の山中で野生復帰しました。
野生復帰後は交通事故に遭わないか等、野生復帰後の動向をモニタリング調査しました。
その結果、なんと、四〇km以上も離れた豊玉町の曾まで移動したことが分かりました。これまで野生復帰させたヤマネコの中では一番移動したヤマネコとなりました。
現在もモニタリングを継続しており、今後もこのヤマネコの動向を調査していく予定です。
また、二〇一三年一月一日に、上対馬町比田勝の国道上で交通事故が原因で保護されたオスの亜成獣のヤマネコを、同年七月一日に上対馬町の山中で野生復帰しました。このヤマネコも野生復帰後の動向をモニタリング調査しており、比田勝へ琴と移動し、現在は琴周辺で暮らしていることが分かりました。
今後は検査捕獲を実施して、健康状態等を確認していきたいと考えています。



放獣前の様子②



放獣前の様子①

～職員退職の挨拶～ 調査研究・ツシマヤマネコ応援団事務局担当

『6年間ありがとうございました』



ありがとう

アクティビティリーダー
茂木 周作

こんにちは。ヤマネコセンターで主にヤマネコの調査業務を担当していた茂木です。
9月末をもってヤマネコセンターを退職し、10月より対馬市役所で勤務することになりました。
6年前、ツシマヤマネコに魅せられて対馬に渡り、野生動物の保護活動を通して、人も野生動物もともに豊かな暮らしができる地域社会を目指して、地元の方々と一緒に汗を流した日々は私にとってかけがえのない財産となりました。
あっという間の6年間でしたが、ヤマネコセンターで得た経験を活かしてこれからは『一對馬人』として活動してやきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



第13回ヤマネコ・クイズ！

昨年度のツシマヤマネコの交通事故件数は何件？

センター News

とらやまの森 No.62 2013 秋・冬号



★「とらやまの森」は比喩的表現や比喩的表現には、土音や方言、方言のなまりや方言のなまりを多用しています。

イベント報告&情報

祝☆20万人!!

夏のお盆時期、来館者が1日に170人を超え、賑やかだった8月14日午後3時頃、ヤマネコセンター来館者数20万人を達成しました!

鹿児島県在住の3人組の大学生が記念すべき20万人目の来館者となり、認定証や記念品などが贈られました。これからも、ヤマネコセンターが多くの人に親しまれる場になるように、スタッフ一同頑張っておこなって行こうと思います。



認定式も行いました!



20万人目の皆さん

動物愛護週間イベント

9月21日、峰町のファミリーパークにて、わんにゃんフェスティバルを開催しました。576名もの来場者があり、皆クイズラリーに参加したり、乗馬やふれあい動物園で、動物たちの温かさに触れたり、会場は笑顔と笑い声で溢れていました。

また10月17日には、美津島町のバルで捨てペット防止キャンペーンと題し対馬市ネコ適正飼養条例について書かれたチラシなどを買い物客に配付しました。



対馬馬も来てくれたよ!



資料配布中のろくべ



対馬市に夢中です!

夏休みの自由研究開催!

8月24日、ヤマネコセンターでは夏休みの自由研究の一環として、鳥デザイナーの松野由起子さんを講師にお招きしてお絵かき教室を開催しました。

子どもたちが大好きなお絵かき。今回はツシマヤマネコをはじめ、対馬に生息する固有種を石に描きました。子どもたちが描く絵はどれも個性あふれ、イベントは大盛況のまま無事終了しました。



石にお絵かきをしています

編集後記
 いつの間にか寒くなりましたね。急に冷え込んだので私は風邪をひいてしまいました…。皆さんは風邪をひかないように気をつけてくださいね!



秋色に癒くもみじ

『紅葉シーズン』
 今日一枚 あんなに暑かった日々もなくなり、命志のみみじ街道はすっかり秋色に包まれていました。
 今年のもみじは夏の気候の影響で、例年よりあまり鮮やかではありませんが、私たちに秋の訪れを教えてくれる大切な風物詩です。

※リサイクル紙の活用: 紙ヘリサイクル可 この印刷物は、グリーン購入法に基づき基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料(Aランク)のみを使用しています。

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2014 新春
No. 63

下島、新たな生息情報得られる！



下島におけるヤマネコの生息情報

美津島町 (平成19年以降)	厳原町
平成22年 9月 (費)	平成19年 3, 5, 8月 (費, カメラ)
平成23年12月 (費, ビデオ)	平成20年 7月 (費)
平成24年 1, 5, 7, 9月 (費, カメラ)	平成21年12月 (保護)
平成25年 6月, 7月 (カメラ)	平成24年 2月 (費)



あれはヤマネコ?と思ったら……
 対馬自然保護宮事務所 厳原事務室
 TEL:0920-57-0101
 対馬野生生物保護センター
 TEL:0920-84-5577

皆さまからのご協力を得て
下島生息情報続々！

二〇一三年六月と七月、美津島町城山付近で、ヤマネコの写真が撮影されました。城山付近では、二〇一〇年から四年連続情報が得られました。二ヶ月連続というのも驚きでした。ヤマネコが生息できる環境が残されている可能性があるということは、大変喜ばしいことです。

下島では、ヤマネコの生息情報がほとんどないことは皆さんご存知だと思います。二〇〇七年厳原町内山周辺で写真撮影されたのが、実に二三年ぶりの確実な生息情報でした。下島ではヤマネコが生息していないかもしれないという不安を抱えながら、地道に調査を続け、得られた嬉しい情報でした。

二〇一三年四月、下島に新しい事務室が開所してから目撃情報が五件寄せられました。残念ながらヤマネコだと特定できた情報はありませんでしたが、ヤマネコのことを気に掛けてくださる方が増えているのはありがたい限りです。

まだ知らない下島のどこかにヤマネコが生息しているかもしれません。皆さんの協力をいただきたながら、下島でも明るい話題が提供できればと思います。

ヤマネコセンターが開所して一六年半が経ちました。ヤマネコは世代交代をしています。私たち職員の顔ぶれも当時から変わっています。下島では新しい施設も建設中です。ただ、ヤマネコとらやまや、とらやまのすむ森を守りたい気持ちは変わりません。

つしま図書館では「とらやまの森」を創刊号からずっと保存していただいています。お時間のある時にぜひご覧ください。

今年もとらやまを守る活動にご理解とご協力をよろしく願います！

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

対馬の環 News



安全運転にマン協力お願いします！

平成二五年度は、これまで四件の交通事故が発生しています。

昨年一〇月に上対馬町舟志、十一月に峰町志越、美津島町渡部、そして年末には上対馬町五根緒で事故が起きてしまいました。(一月一四日現在)

大変残念なことに、どのヤマネコも今後の繁殖が期待される健康な個体でした。車の通りの多い、スピードの出やすい道路での朝晩の交通事故が多発しております。

朝晩の運転の際には、もしかしてヤマネコが飛び出してくるかも？と思って安全運転を心掛けていただければと思います。

また、方が一機いてしまった場合も、故意でなければ罪にはなりません。

死傷したヤマネコがいまさら、二四時間受付けていますので、ヤマネコ緊急ダイヤル (0920-84-2517) まで、ぜひご連絡をお願い致します。

昨年度は連絡により二頭の命が助かり、元気に野生に帰っていきましました。

事故によって失われる命の一つでも減らす為、どうぞ皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願致します。



ヤマネコの交通事故現場



交通事故現場付近に看板を設置しています

事故現場付近に看板設置

動物愛護ポスター展

昨年一二月の一ヶ月間、センターでは「いきもの絵画コンクール」の作品展六九点を展示しました。

このコンクールは、対馬島内の小学生を対象に対馬獣医師会が募集したものです。

どの作品も動物や自然に対する愛情溢れる作品ばかりでした。

その中から県や市などの関係者と協みながら入選作品九点を選びました。

入選作品は、対馬の自然が育む豊かな生物相を表現したものとや対馬とふれあっている風景、飼っている犬を題材にしたものなど、小学生が描いたとは思えないような、よく観察しているなど感心させられる作品ばかりでした。

また、こうして応募作品を見ると、対馬の子供たちの周りには、当たり前にも自然があり、希少な動植物までもが身近な存在であることを、とてもうらやましく思いました。

今年も、皆様からのたくさんの応募、お待ちしています。

今回子供たちが描いてくれた風景と優しい心が、未来までずっと続いていきますように。

今年も、皆様からのたくさんの応募、お待ちしています。



受賞した子供達



表彰式の様子

～対馬の自然はどれのもの？～

ごんには、巖原事務室のよしだです。今回は上島出張のお話です。昨年12月にコウノトリが兵庫県豊岡市から飛来しました。合計4羽。僕は略称の2羽を見に行きました。

遠く300km以上離れたところから飛んできた姉弟。

姉は近くの川にいて、アオサギのとなりでご飯をさがしていました。

弟は、冬の日差しが心地よかったのが、目を閉じて電柱のてっぺんを居眠りしているようでした。彼らは、対馬を年越しをしたそうです。

一時は日本からいなくなったコウノトリですが、今少しずつ数が増えてきています。

彼らは何を思っって対馬に降り立ったのでしょうか？

彼らにとって、対馬の自然はどのように映っているのでしょうか？



コウノトリの様子



電柱で居眠り...



餌を探しています

第三回
下島だより♪



巖原事務室 吉田 裕司

センター用語

動物愛護週間・・・動物を受け、動物と人間との絆を深める事を目的として定められた記念週間

鶏小屋などの補修・点検に、ご協力を！

昨年一二月から年明けにかけて、センターでは四頭のヤマネコの保護をいたしました。

そのうち三頭は、錯誤捕獲で、鶏小屋に侵入したり、カニかごに誤って入ってしまったというものでした。

二頭は検査及び治療を終え、すでに野生復帰しています。

残りの一頭についても近日中に検査を実施予定で、結果を見て今後の方針を検討する予定です。

ヤマネコの繁殖期は冬で、この時期は行動が活発になるため、民家の近くに出没する機会も増加します。

錯誤捕獲を未然に防ぐためにも最も大切なことは、人間側が注意を払い、ヤマネコが誤って侵入しないように対策することです。

鶏小屋にすき間や穴がないか等点検及び補修をお願い致します。

また残りの一頭は、美津島町芦浦にて、衰弱しているところを保護されました。

若いオスの個体で、まだまだ治療には時間がかかりませんが、早く元気になるよう状態を観察していきます。

人と動物の共存のために

鶏小屋点検のお願い

ヤマネコは、繁殖期になると行動が活発になり、民家の近くに出没する機会も増加します。錯誤捕獲を未然に防ぐためにも最も大切なことは、人間側が注意を払い、ヤマネコが誤って侵入しないように対策することです。

鶏小屋にすき間や穴がないか等点検及び補修をお願い致します。

また残りの一頭は、美津島町芦浦にて、衰弱しているところを保護されました。

若いオスの個体で、まだまだ治療には時間がかかりませんが、早く元気になるよう状態を観察していきます。



ヤマネコの検査捕獲を実施しました

昨年一二月、二頭の若いヤマネコの検査捕獲を実施しました。一頭は、平成三年に野生復帰させた個体で、今回で五回目となります。また、もう一頭は平成二五年七月に野生復帰させた個体で、初めての検査捕獲となりました。

検査の結果、二頭とも特に大きな異常は無く、すぐに野生へと帰しました。この二頭については、今後もモニタリングを継続していきたいと思っております。

悲しい死体收容...

昨年一二月にかけて、三頭のヤマネコの死体を收容しました。

一頭目は、一月二〇日に美津島町濃部の国道上で発見された若いメスで、死因は交通事故でした。二頭目は、一二月一日に上県町佐護の集落内にて発見された若いオスで、衰弱したところを小動物に襲われた可能性が高いですが、現在も咬傷痕のDNA判別等、死因を調査中です。三頭目は、二月三〇日に上対馬町五根の市道にて発見されたオスで、死因は交通事故でした。



職員日誌 ⑱ 「ネズミも性格十人十色!!」

飼育員：笹沼
(出身地：神奈川県)



ヤマネコやネズミのお世話をしています♪イラストが得意でPOP担当もしています♪

ヤマネコセンターのラウンジコーナーに展示しているネズミたち。

靴を脱がないと近くで展示が見れない場所があるので素通りされがちですが、よ〜く観察してみるとなかなか面白いものです。

ヤマネコセンターにはヒメネズミとアカネズミが展示されていますが、種類や個体によっても性格は違います。

ヒメネズミは食いしんぼうだけと臆病なので、餌を与えると大好きなリングを持って安全な場所に移動し、そこで餌を食べ始めます。

アカネズミたちはわんぱく揃いで、ススキを置くとすぐにちぎって巣材にしたり、床材のチップを右へ左へせっせと運んでいたりもします。

小さなネズミたちですが、それぞれ性格が出ているので皆さんも観察してみてくださいね♪



第13回 ヤマネコ・クイズの答え!

昨年度のツシマヤマネコの交通事故件数は15件で、内助かったのは2件です。

センター News

とらやまの森 No.63 2014 新春号



★ 2014年1月14日発行

イベント報告&情報

ラウンジコーナーをリニューアルしました♪

ヤマネコセンターでは子どもたちに大人気のラウンジコーナーをリニューアルし、新しくみんなで遊べるグッズを増やしました！

人気のスタンプも種類が増え、三種類のめりえやペーパークラフト、おりがみ、そしてこの時期限定のヤマネコすごろくも用意しています。子どもたちが夢中で遊べ、よりヤマネコにも親しみを持ってもらえる様な楽しいコーナーになりましたので、休日はご家族で是非ヤマネコセンターへお越し下さい。



手作りのめりえとすごろく



ぜひセンターに来てね♪



はんこの種類増や

大好評！ヤマネコ教室



佐藤東小学校の皆さん

島内の小中学生を対象とした普及啓発活動のヤマネコ教室。今年度は5月29日から始まり、1月7日までに全32回のヤマネコ教室を開催しました！



藤原北小学校の皆さん

ヤマネコをもっと詳しく知るためのレクチャーや、体を使って勉強するネイチャーゲームなど学校の目的に応じて様々なプログラムを行いました。

今年もたくさんのお子どもたちに対馬の自然やヤマネコのことを楽しく学んでもらえるように頑張っています！

楽しいイベント盛りだくさん♪

11月17日に『もみじ街道散策&リース作り』のイベントを開催しました。舟志のもみじ街道を散策し、リースを作りどんぐりや木の実、もみじなどで飾り付けをして、とても秋を感じるイベントとなりました。

また12月8日には、島デザイナーの松野由起子さんを講師にお招きして、『楽しく学べる!!ヤマネコ判子講座』を開催しました。親子で一緒にヤマネコと対馬の判子を制作しました。年賀状にもぴったりの判子が上手にできあがり、参加者は大変喜んでいました。



上手にはんこが出来ました



可愛くできました♪

編集後記

新年最初のとらやまの森はいかがでしたか？楽しんで頂ければ幸いです！今年も職員含めてどうぞよろしくお願い致します！



上島町佐護のコウノトリ

今日の一枚『コウノトリ』
 昨年の一二月一三日に上島町佐護と峰町五田に、それぞれ二羽のコウノトリが飛来しました。兵庫県豊岡市でコウノトリの保護活動が行われており、今回の個体はそこで繁殖した個体という事が判明しました。
 その後、佐護の二羽は翌日に飛び立ちましたが、五田の二羽は一月五日まで確認されています。

※リサイクル紙の活用：紙ヘリサイクル社 この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙ヘリサイクルに適した材料(Aランク)のみを使用しています。

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

仔ヤマネコ誕生!!立派に仔育て中!!



2014 初夏号
No. 64



ヤマネコbaby♪
すくすく成長中!!



写真提供(福岡市動物園)



生後4日目



生後6日目



生後3週間



生後1か月

平成二六年四月一日に福岡市動物園にて三頭の仔ヤマネコが誕生しました。一頭は残念ながら出生後まもなく死亡してしまいました。残りが、残りの二頭は元気に育っています。母ネコも、初めてとは思えないほど立派な仔育ての様子を見せてくれています。

仔ヤマネコが生まれ、無事に育つのは実に五年ぶりのこと。関係者一同、喜びで胸がいっぱいです。今回のベアは、No.38(メス・八歳)とNo.60(オス・推定五歳以上)で、昨年に引き続き二度目の出産です。実は昨年と同じベアで出産までは至っていません。しかし難産となり自然分娩ができず、帝王切開により取り出した二頭の仔ヤマネコは、直後に死亡してしまいました。

出産を迎えるにあたり、帝王切開やその後の人工哺育など綿密な準備を行いました。帝王切開は昨年経験しましたが、それでも出産の兆候や難産か否かの判断はとても難しいものです。加えてヤマネコの人工哺育に関しては、これまで前例がありません。経験が無い中で、様々な状況を想定して準備を進めておかなければならないのは本当に大変なことでした。不測の事態に備え、福岡県獣医師会所属の有志の先生方にもご協力いただき、近隣の動物病院の先生方には当番制で待機もして頂きました。こうして万全の体制を整えて出産に臨んだ結果、二時間ほどかけてのスムーズな自然分娩という、人間の手助けを必要とできない一番望ましい形で出産を終えることができました。

今回、五年ぶりに繁殖に成功しましたが、課題はまだ山積みです。一つ一つ課題を解決しながら、これからも飼育下繁殖に取り組んでいきたいと思えます。

福岡市動物園で
三頭のかわいい仔ヤマネコ誕生!

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分(入館は16時まで)までとなります。
通常は月曜日が休館日ですが、月曜日が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

対馬の環 News



つながるキャンペーン♪

二〇一四年四月一七日から、センターでは「つながる」キャンペーンを実施しています。

このキャンペーンはケガをしたり、弱っているヤマネコを見かけた際、すぐにセンターまで連絡することができるよう、携帯電話にセンターの電話番号を登録してもらうというものです。

迅速な対応が求められる救護の現場においては、最初の発見時に連絡を入れていただけることは、救命率の向上に直結する非常に重要なこととです。

ひとつでも多くの命を救うことができるよう、住民の皆様に参加頂けると嬉しいです。

参加方法は、携帯電話にセンターの電話番号を登録。やまねこサポートとして、ヤマネコの特徴を理解した上で、登録用紙に署名して頂きます。

そして、参加者にはオリジナル缶バッジをプレゼントしています。(先着四〇〇名)

皆様、是非キャンペーンにご参加下さい。

「つながる」キャンペーン実施中！

センター名	登録人数	配布数
長崎	10	10
佐賀	15	15
福岡	20	20
熊本	25	25
大分	30	30
鹿児島	35	35
宮崎	40	40
対馬	45	45
合計	195	195



新しくなったヤマネコ教室！

センターでは皆さんにヤマネコについて知ってもらおう活動として、島内の小中学校を対象とした「ヤマネコ教室」を実施しています。

楽しみながら学べることをテーマとして、学校の学習内容や目的、要望時間に合わせたプログラムを組み、ヤマネコに関するレクチャーやアクティビティを実施しています。センターに来る事ができない場合は、職員が出張型出張型のヤマネコ教室も可能です。

全て無料で実施しており、更に今年度からは消しゴム判子講座や、石に固有種を描くお絵かき教室など、新しいプログラム内容も増え、より楽しみなプログラムになっていきます。

是非総合学習等でご利用頂けたらと思います。

小中学校だけでなく、高校や島内でのイベント等でも、レクチャーなどを実施することも可能です。お気軽にご相談ください。

センターのホームページでもヤマネコ教室の紹介を行っています。すでにご覧ください！

お気軽にセンターまでお問い合わせください。

普及啓発担当
吉岡・阿比留



新★職員のご挨拶 ~『はじめまして♪』~



アクティブレジャー
藤浦 志貴
出身地：富山県

4月からアクティブレジャーとして勤務しています。藤浦志貴です。大学ではツシマヤマネコの研究をさせていただき、去年からたびたび対馬に足を運んでいました。これからは対馬に腰を据え、対馬の自然や生物と向き合っていけることをうれしく思っています。

対馬が「ヤマネコと人が一緒に暮らす島」であり続けられるよう、何事にも積極的に取り組んで対馬のために貢献できるよう頑張りたいと思います。これからよろしくお願いたします！



アクティブレジャー
山口 貴子
出身地：長崎県

今年4月、対馬自然保護官事務所蔵原事務室にアクティブレジャーとして着任しました山口です。これから下島を中心にヤマネコの調査や普及啓発などを担当します。対馬の素晴らしい自然の中で働くことをとても嬉しく思っています。これまででも野生動物に関わってきたのですが、ツシマヤマネコに関わるのは初めてなので、まだまだ慣れないことも多く未熟ではありますが頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

センター用語

ツシマヤマネコ野生馴化ステーション…動物園で生まれたヤマネコを野生復帰するために馴化訓練を行う施設。
※蔵原事務室はツシマヤマネコ野生馴化ステーション内にあります。

やまねこ News

春の交通安全キャンペーンに参加しました！

四月に島内三ヶ所で行われた春の交通安全キャンペーンに、センターからマスコットのつばきと共に参加させて頂きました。

当日は、警察や交通安全協会、県、市、ボランティアの皆さんに加えて、対馬振興局のろくべえも一緒に参加し、人にもヤマネコにも優しい運転を呼びかけました。呼びかけの際に配布したのは、昨年度の秋、ツシマヤマネコ応援団と共催した「ツシマヤマネコ交通安全防止普及啓発ポスターコンクール」で、島内各地の小中学生の皆さんにご応募頂いた作品の中から、入賞した作品を載せて作成したクリアファイルです。

残念な事に昨年度は四件の事故があり、ツシマヤマネコの無事故記録が二六五日で途絶えてしまいました。秋から冬にかけての交通事故が増加する季節は過ぎましたが、春や夏も交通事故は発生しておりあります。加えて出産、仔育てのシーズンでもありますので、運転の際は十分気をつけて頂ければと思います。

無事故記録が昨年度の記録を越えて、更にどんどん伸びるよう、どうぞ皆さま、ご協力のほどよろしくお願い致します！



つばき&ろくべえ♪



配布中のつばき♪

ヤマネコの保護收容

二〇一四年三月一日、上県町佐護にてセンターが成獣・オスのヤマネコを緊急捕獲しました。

実はこのヤマネコ、NPO法人ツシマヤマネコを守る会の保護区に以前より度々出現していた個体なのですが、二月下旬に現れた際、代表の山村氏が頭部に外傷を負っていることを確認し、センターに保護要請がきたものです。捕獲後、検査と治療を実施し、頭部の外傷は、何らかの動物に襲われたものと推測され、現在もセンターにて治療中です。

これまでセンターには、ノラネコやノライヌに襲われて負傷したり、死亡したヤマネコが何頭も收容されていきます。今回の個体もノラネコに襲われた可能性がありそうです。

対馬市では、飼育猫のマイクロチップによる登録義務、不妊化処置の推奨など人間とネコ、そしてヤマネコ等の野生動物が共に幸せに暮らすために、

「対馬市ネコ適正飼養条例」を施行しています。

これからのネコやイヌの適正飼養を推進していくべきですので、ご協力の程よろしくお願い致します。



佐護で收容されたヤマネコ



～対馬の野鳥『探鳥会』～



カラアカモズ

島外山を訪れ、鳥を光した！

4月26日に長崎県主催の探鳥会が開催されました。天候に恵まれましたが、今年は鳥たちの渡りが遅かったらしく、参加者の驚きの声を聞く回数は少なかったようです。対馬の自然の素晴らしさを少しでも感じる機会があるのは素敵です。お時間があれば、対馬の自然を感じる小旅行に出かけてみてはいかがでしょうか？

下島だより④ ～ツシマヤマネコ紙芝居『やまねこさんぽ』～



贈呈式の様子♪



こんにちは、藤原事務室のよしだです。今回は紙芝居です。

4月14日に長崎県立対馬高校美術部からツシマヤマネコ紙芝居「やまねこさんぽ」を寄贈いただきました。当日は生徒さんの上演もありました。内容は、「ヤマネコの親子が、母親の子どもの頃遊んでいた場所に散歩に行くことに。そこで見た景色とは……!？」また、現在他に3作品を制作してくれているようで、これから、対馬島内でも上演していく予定です。4作品すべてを見ることができるよう、ぜひいろいろなところの案内を見てみてください！

第14回ヤマネコ・クイズ！

ツシマヤマネコが一回の出産で産む仔どもの数は何頭でしょう？



対馬で頑張っている人にインタビューする新コーナー！

No.01

対馬のあの人この人

●仕事内容を教えてください！

対馬市CATVに勤務し、イベントや人物の取材から編集まで様々な業務を担当しています。多くの方にお世話になり、色々なことを学ばせてもらっていて、本当に感謝しています。

対馬は時間の流れがゆっくりで自分が一番落ち着く場所です。四季折々で変わる自然を見るのも好きですし、それを知るのもまた面白くて常に魅了し続けてくれます。

●対馬の魅力はなんですか？

元々ネコが好きでヤマネコ関係の仕事があったら「行きたい」と言っていたのがきっかけで、ヤマネコ関係の取材はほとんど私が行っています！でも実は野生のヤマネコを見たことがないので、対馬の皆さんに知ってもらいたいと思いつつ、自分ももっとヤマネコを知りたくて取材を続けています。

対馬市CATV
なびお はるか
永尾 悠さん



これからも取材を続けていくことで、少しでもヤマネコの保護に役立てればと思います。また、より多くの子どもたちにヤマネコについて考えもらえるきっかけになりたいです。しかし、まずは自分が野生のヤマネコを見ることからですね♪

●ヤマネコとのかかわり

●今後の目標は？

飼育下繁殖に参加している動物園を紹介する新コーナー！

今回の動物園♪

西海国立公園 九十九島動植物園 森きらら

平成26年1月にオープンした「ペンギン館」には日本最大の天井水槽やペンギンの足裏を見ることができる日本初の極浅水槽などがあり、ペンギンをいろいろな角度から見るができます。

その他にも高さ13メートルの巨大雲を渡るフクロテナガザルや、日本国内では森きららでしか飼育していないクロハゲワシなど、魅力的な動物がいっぱい！ツシマヤマネコ舎では8歳のオスのヤマネコがお出迎え。観覧通路の上でくつろいでいる姿や、ガイドの時には野性味たっぷりにフェンスに飛びついて目の前で餌を食べる姿をご覧いただけます。



お問い合わせ

西海国立公園
九十九島動植物園 森きらら

長崎県佐世保市船越町2172番地
TEL : 0956-28-0811
FAX : 0956-28-5809



写真提供(九十九島動植物園)

編集後記

セトツバタゴやアジサイも咲き終わり、いよいよ夏が近づいてきました♪これから暑くなると思うので、皆さん体調には気を付けてください！



キガシラセキレイ

『キガシラセキレイ』
今年の野鳥の春の渡りは、あまりにも何も居ない日々が続きました。そんな中、四月二八日に鳥が帰った後に三日程戻りました。キガシラセキレイはその中の目玉的な野鳥の一種で、綺麗なオスの成鳥でした。

今日一枚

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2014 秋号
No. 65

仔ヤマネコたち
すくすく成長中☆

写真提供：西海国立公園九十九島動物園



九十九島で仔ヤマネコ誕生！

二〇一四年五月二十七日に、佐世保市にある西海国立公園九十九島動物園にて二頭の仔ヤマネコが誕生しました。福岡市動物園に続き、今年二例目の出産です。

今回のペアは、オス（七歳・メス）「YUNO」(九歳・オス)で、どちらも福岡市動物園で生まれた飼育下繁殖個体です。実はこれまでに様々なペアによる繁殖が行われていますが、飼育下繁殖個体同士のペアで出産に成功したのは二度目、そして無事に育つというのは初めてのことなのです。過去一度の出産も、たまたまですが、巣箱の外で産み落とされただけで、仔ヤマネコ三頭は出生直後に死亡してしまいました。そのため、今回の出産においても、きちんと出産後の世話をすることができるといえるのかどうか心配でしたが、こちらの心配をよそに無事出産し、その後も献身的に世話をされており、仔ヤマネコたちは元気に成長しています。

さて、今回の出産に関しては、初めてのことがもう一つあります。それは妊娠初期における早期妊娠診断の実施です。交尾から約三〇日目に、麻酔をせず超音波検査を実施し、心拍などを確認しました。ベットの間に当たり前に行われている妊娠鑑定のための検査ですが、ヤマネコでは画期的な事でした。

検査によるストレスを軽減するため、繁殖期よりもずっと前からハズバンドリートレーニング（受診動作訓練）を行いました。トレーニングはまだまだ発展途上ですが、今後飼育下繁殖技術の向上に向けて、トレーニングをはじめ、様々なことに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分（入館は16時まで）までとなります。
通常は月曜日が休館日ですが、月曜日が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

対馬の環 News



夏の草刈り時期到来!

ツシマヤマネコ応援団では、ドングリの苗を植樹し広葉樹の森を育てることで、ヤマネコをはじめとする対馬の自然と人の共生を目指す、とらやまの森再生プロジェクトを行っています。

二〇〇七年九月に上対馬町舟志へ、二〇一二年に厳原町の親愛こども園で、植樹を実施しています。また、毎年六月頃には苗周辺の草刈り作業を行っています。今年度は六月二十八日に親愛こども園、二十九日に舟志で作業を行いました。

二八日の親愛こども園では、子供たちと先生方にも協力頂きながら作業を行いました。子供たちの頑張りのおかげで草が見えなかつた小さな苗たちが顔をだし、太陽の光を浴びられるまでに綺麗になりました。

二九日の舟志の森では、四名で草刈り機を使っての作業を行いました。開始前には、草木で覆われていたドングリの木でしたが、作業終了後には、木の陰が地面に写る程までに綺麗になりました。

毎年ドングリの実を実らせている舟志、そして今後苗から木へと成長していく親愛こども園、両方の場所での成長をこれからも楽しみに管理していこうと思います。



作業終了後の舟志♪



草刈り中の子供たち♪



草刈り機で作業中!

今年も開校! 田んぼの楽校♪

今年度も開校された田んぼの楽校は、佐須奈小学校五年生八名の児童と一緒に一年間田んぼについて学んでいきます。

今年度は五月一六日に泥んこ遊びを行い、ネイチャーゲームを通して田んぼとヤマネコの関わりを学びながら皆で泥だらけになって遊びました。翌週二二日には稲の手植え体験を行いました。ご指導して頂いた農家さんからは「上手になったね!」と言って頂き、児童たちもとても喜んでいました。

七月八日の田んぼの生き物調査では、オタマジャクシやトンボなど様々な生き物とふれあい、じっくり観察しました。次回、十月には自分たちで植えた稲を収穫する稲刈り体験です。今年度は脱穀の体験もさせて頂くことになっています。

また、ピオトープでの生き物調査も予定されており、田んぼの生き物とはまた違った生き物を観察します。今年度の田んぼの楽校は旧佐護小中学校の横の田んぼで行っています。

近くにいらした際は是非、佐須奈小学校の児童たちが育てている稲の成長をご覧ください。



田植え作業!



生き物調査中!



楽しんでいるみんな♪

職員日誌②〇 ~四季ごとに衣替え♪~

事務補佐員 阿比留 早紀



事務・ツシマヤマネコ応援団事務局を担当しています♪



夏の朝顔展示♪



スイカ割りのヤマネコPOP♪



7月は七夕展示!!

こんにちは(^_^)事務補佐員の阿比留です。今日は皆さんがヤマネコセンターへ訪れた際に必ず通るレクチャールーム前の展示について紹介したいと思います♪この場所は、四季ごとに衣替えをしているのはご存じですか?今の夏時期は、色んな色が目に映るおさがお友達♪子供達が多く集うこの場所を、少しでも明るい印象で、目で見て四季を感じて貰える様、アイディアを凝りながら一つ一つ手作りしています。そこにはもちろん時期ごとに衣替えをするヤマネコもいますよ!是非センターへ訪れた際には「今の季節はどんな展示かな?」と楽しみにして頂けるよう明るく館内作りをしていこうと思います(^_^)♪

センター用語

ツシマヤマネコ応援団……ヤマネコをはじめとする野生動物を守り、次世代に引き継ぐ事を目的としたボランティア団体

やまねこ News

ヤマネコテラスと研修報告！

六月二十五日～六月三十日の間で、ヤマネコセンターでも試みているハズバンドグリーントリーニングを学ぶ為、栃木県的那須高原にある那須どうぶつ王国に行つてきました。

ハズバンドグリーントリーニングとは動物側に協力してもらいながら、体温を測ったりお腹を触ったり、採血やレントゲン、エコー検査等の医療行為を行う為のトレーニングです。このトレーニングを行う事で、網で捕獲して押さえつけたり、麻酔をかけなくても様々な治療行為が出来るようになります。

トレーニング研修でもヤマネコに關係のある那須どうぶつ王国ですが、実はここで佐護ツシマヤマネコ米が食べられるのです。その名も「ヤマネコテラス」！代表の佐藤さんが、ヤマネコをはじめとする野生動物保護の為に出来る事は何かと考えたとき、ヤマネコ米を食べよう！と思ったそうです。

ヤマネコテラスではこのヤマネコ米を年間約三ト購入し、レストランのご飯として提供しています。地元栃木の豚肉等を使った定食やカレーなど頂いてきましたが、どれも非常に美味しくて大食漢の私でも大満足できるものでした。

ヤマネコ米は那須どうぶつ王国のように大口で購入契約をして下さる方を募集中です。ヤマネコ米を食べるヤマネコ保護にご協力をお願いします。



是非行って見て下さい♪



ヤマネコテラスの様子

放獣と死体收容

二〇一四年三月一日、頭部外傷のために上県町佐護にて保護されたオスが、同年六月三十日に保護地点にて野生復帰しました。

このオス個体は、保護以前より度々「ささ法人ツシマヤマネコを守る会」(以下、守る会)の保護区に出現していることから引き続き、守る会の方と連絡を取り合い、観察を続けていきたいと思ひます。

さらに二〇一四年一月二日に、美津島町芦浦にて衰弱のために保護されたオス個体が七月一日に野生復帰しました。この個体には白い反射テープの付いた首輪型発信機を装着し、定期的にその動向を観察しています。

野生復帰から一ヶ月ほど経ち、貝畑付近まで移動したことがわかっていきます。今後は検査のための捕獲を実施し、野生復帰後の健康状態の確認をします。その後再び放獣し、継続してモニタリングしていく予定です。

なお、ヤマネコが今後どこに移動していき、定着するのはまだまだわかりません。通勤などで美津島町や豊玉町を通過する際には、ヤマネコにも優しい運転でお願いします。



野生復帰したヤマネコ



発信機を付けたヤマネコ

安全運転への協力
よろしくお願ひ致します！

下島だより⑤ ～蕨原港まつりに参加してきました♪～

みなさんこんにちは。下島より山口です。

8月2日、ヤマネコのつばきちゃんと蕨原の港祭りに参加してきました！あいにくの悪天候で、子供みこしのつばきちゃんの行進は中止になってしまいましたが、下島でのツシマヤマネコの理解をより深めるため、会場にヤマネコのブースを出展しました。また、PRタイムには、つばきちゃん・ろくべえくんと一緒に舞台上がり、秋・冬のヤマネコの交通事故が起きやすい季節にむけて、人にもヤマネコにも優しい安全運転のお願いをしました。最近では下島でもヤマネコの生息情報が増えています。交通事故が起らないよう、上島だけではなく下島でも安全運転をよろしくお願ひします！

蕨原事務室勤務
アクティブレンジャー



山口 貴子
(長崎県出身)



PRタイムの様子♪



ブースでの話しゴム判子♪



つばきとろくべえ参加♪



おいでもみも買って買った♪

第14回ヤマネコ・クイズの答え！

答え：ヤマネコは一度の出産で二頭～三頭の子供を産みます。

対馬で頑張っている人にインタビューするコーナー！

No.02

対馬のあの人この人

●MITとはなんですか？

対馬を舞台に地域の資源や魅力、誇りを「見つける(M)」「活かす(I)」「繋ぐ(T)」という3つの理念の下、自然を活かし技術や知恵を身に着けた人材育成、地域資源を持続的に使う産業を作る活動をしています。

●どんな仕事をしていますか？

大学生を地域で受け入れ地域づくり活動を進めたり、観光客に民泊や農作業などの対馬ぐらし体験してもらう場を提供します。また、地域づくりの政策提言や地元素材を使った商品開発もしています。

対馬の資源を持続可能な形で利用しながら、精神的に豊かなくらしを続けていく。これが、メンバーみんなに共通した目標です。MITは、各人が自ら培った専門性を活かしつつ、チームで連携して仕事をするのが強みですね。まずは、志多留を住民の皆さんと持続可能な地区にしていくことが目標ですが、それと並行して対馬全体の地域づくりにも貢献したいです。対馬は今後の全国での「地域おこし」のモデルになると確信しています！



いっばんしゃだんほうじん MIT
一般社団法人 MIT

●将来のビジョンは？

飼育下繁殖に参加している動物園を紹介するコーナー！

今回の動物園♪

福岡市動物園

ツシマテンの僕は夏場、黒っぽい毛色になるのが特徴だよ！



2013年に開園60周年を迎えた福岡市動物園では、動物にも人にもやさしい動物園を目指して20年計画でリニューアルを行っています。新しくできたアジア熱帯の深谷エリアではオランウータンとシロテテナガザルの一緒にいる姿や、いきいきとしたコツメカワウソの親子、ショウの食事などを間近に見ることができます。対馬にちなんだ動物も展示しており、ツシマヤマネコ、ツシマテン、ツシマジカがいます。また2014年6月には首を長くして持っていたメスのアミメキリンがアメリカから来ました。2才なのでまだ小さくてオスのキーボーとは体格差がありますが、超越して顔を近づけたり相性は良さそうです。数年後にキリンの赤ちゃんをお見せできればと思います。

お問い合わせ

福岡市動物園
〒810-0027
福岡県福岡市中央区南公園1番1号
TEL: 092-531-1969



僕らとっても仲良しなんだよ

今年生まれのツシマヤマネコ



写真提供(福岡市動物園)

編集後記

つい最近新春を迎えた気がするのに、あっという間にヤマネコの交通事故が多い季節になりました。今年も安全運転で事故のないように皆さんようしくお願いいたします！！



ユニークな蜂洞

『対馬の養蜂、蜂洞』ニホンミツバチの養蜂が盛んな対馬には、「蜂洞」と呼ばれる巣箱がいたるところにあります。蜂洞の形はさまざまで、木をくり抜いた蜂洞や重箱式の蜂洞などがあります。中にはユニークな蜂洞もあり、私の心をほっとさせてくれます。

今日の一枚

★「とらやまの森」の記事を引用される際には、「出典：とらやまの森」を必ずご記入ください。

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2014 冬号
No. 66



交通安全キャンペーン



島内各所に
設置中！

下島でも
生息確認中!!



佐須奈小学校と合同で
交通安全キャンペーン



交通安全ポスター展

● 交通事故多発区間

☆ ツシマヤマネコ等身大看板

交通事故防止対策実施中！

秋から冬は若い個体が親離れしたばかりでまだ環境に慣れていなかったり、繁殖相手を求めて行動範囲を広げるため、ヤマネコの交通事故が多くなります。

昨年度は四件の事故が発生し、今年度も一月二日に豊玉町曾において、亜成獣のオスが交通事故で死亡しています。無事故記録は二九四日で、過去最長の一二〇五日には届きませんでした。

ヤマネコセンターでは、警察署や学校などの協力のもと、ヤマネコの交通事故防止を呼びかけるための交通安全キャンペーンを行いました。その他にも、ツシマヤマネコ応援団と共催でポスター展を開催したり、小中学校に色を塗ってもらったヤマネコの等身大看板の設置を行っています。

また、上瀬町柳瀬の事故多発区間では、見通しを良くしてドライバーがヤマネコを見つけやすくするために、道路脇の草刈りを実施しました。事故多発区間はヤマネコセンターや空港、レンタカー会社などで配布している「ドライパーズマニュアル」に詳しく掲載していますのでぜひご覧下さい。

皆さんの通勤通学、お買い物などでよく利用する道路でも、ヤマネコの交通事故は起こるかも知れません。ヤマネコは上島はもちろん、近年では下島北部でもその生息が確認されていますので、対馬全島の安全運転にご協力をよろしくお願いいたします。

またケガをしていたり、交通事故に遭ったヤマネコを見かけた際には、二四時間受け付けておりますので、ヤマネコセンター（TEL:0920-84-5577）までご連絡をお願いいたします。

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分（入館は16時まで）までとなり、休館日は月曜日ですが、祝祭日の場合は開館し、翌日が休館日となります。年末年始は12月29日～1月3日まで休館とさせていただきます。

対馬の環 News



わんにゃんフェスティバル2018開催!

九月二〇日、豊玉町仁位のパールドームにて動物愛護週間イベントである、わんにゃんフェスティバル二〇一四を開催しました。

イベントでは参加者が、イエネコの正しい飼い方が掲載されている冊子を手についで、クイズラリーに挑戦し、ひとりひとりがイエネコの適正飼養について考え、マイク Rocha ツブによる個体の登録や不妊化の重要性を学びました。

また、福岡市動物園からやってきたウサギ・モルモットとのふれあいや、対馬馬の乗馬体験なども実施しました。参加した子どもたちは、初めて見るウサギやモルモットにびっくりしながらも、最後には楽しくふれあうことができ、動物に対する優しい気持ちが生えたとよかったです。

その他にも動物愛護絵画表彰式や狂犬病・ヤマネコ展、消しゴムはんこを使ったスタンプなど様々な催し物を実施し、終日大盛況のまま幕を閉じました。



対馬馬に乗ったよ♪



クイズラリーの様子



ふれあい体験

夏だ！海だ！夏季実習だ！

今年度も八月二〇日、二九日の一〇日間に夏季実習を行い、七名の学生が参加してくれました。

今年度は獣医・飼育コース、普及啓発・地域社会づくりコースの二つに分かれ、より専門的な分野に分かれての実習を行いました。

獣医・飼育コースではヤマネコの飼育実習以外にも、対馬馬実習や動物病院での実習を行い、野生動物と関わる獣医師の視点を感じ学んで頂きました。

普及啓発・地域社会づくりコースではネイチャーゲームや紙芝居の上演、地域住民との交流など、普及啓発体験や保護に関わる地元住民との関わりについて学んで頂きました。

ヤマネコ保護以外にも、ヤマネコとともに暮らす地域の方々から、様々なことを学び刺激を受け、それぞれ、価値観や想い、考えに大きな変化があったことと思います。今後、ヤマネコセンターの実習に参加してくれた学生が、野生動物保護の担い手となる人材になってくれることを期待しています！



獣医コースの様子



また対馬に来てわ！



普及啓発コースの様子

退職のごあいさつ

事務補佐員として勤務していました阿比留ですが、9月末を持ちまして退職致しました。短い期間でしたが、地域住民や各関係者の方々を通じて、多くのことを学ばせて頂きました。

経験や知識はなく不安だらけの入職でしたが

沢山の関係者の方々の暖かい言葉を頂けての退職までに人脈を広げられた事、

そして何より皆さんと一緒に働けた事が貴重な財産となりました。

今後は対馬島内から母として、また一島民として支援していけたらと思っています。1年半本当にお世話になりました。ありがとうございました。



事務補佐員
阿比留 早紀



センター用語

ネイチャーゲーム……体を動かしたり、人間の五感を使って自然の不思議や仕組みを学ぶ体験プログラムのこと。

やまねこ News

三頭のヤマネコの保護收容

ヤマネコセンターでは、八月から一〇月にかけて、三頭のヤマネコ（いずれも成獣オス）を検査のために捕獲しました。一頭は、昨年度の一月に救護し、七月に野生復帰させたヤマネコで、検査の結果、健康状態に問題は無く、野生復帰直後の一ヶ月という、最も生存が心配される期間を無事に乗り越えることができました。

またもう一頭は、約八ヶ月ぶりの検査でしたが、健康状態に問題はありませんでした。

最後の一頭は約三年という長期間モニタリングを継続しているヤマネコですが、検査の結果、受傷後二ヶ月と診られる大腿骨の骨折痕が確認されました。交通事故など、なんらかの強い衝撃を外から受けたものと推察されます。ちようどその頃、行動域も小さくなっていて、動くことができなかったものと考えられ、モニタリング調査の重要性を改めて感じた検査となりました。幸い、検査時にはすでに骨折の状態は快方に向かっていたので、歩行や採餌には問題なく、放獣することができました。今回検査捕獲した三頭については、今後もモニタリングを継続していきます。



長期遡跡している個体



放獣の様子

つながるキャンペーン実施中！

二〇一四年一〇月八日から第二弾の「つながるキャンペーン」を開始しました。前回春に実施した第一弾は、ケガをしたヤマネコを発見した際などにすぐに連絡を頂けるようヤマネコセンターの電話番号を携帯電話に登録して頂くというものでしたが、今回はそれに加えて救護用段ボールを車に積んでおいてもらうというものです。

救護の場面に遭遇した時にとでも役立ちますので、皆様のご協力よろしくお願いたします。

「つながるヤマネコ救護」
どうしたらいい？～救助時の対応～

- ① ヤマネコを発見したら、まず「救助センター」に電話してください。
- ② 救助センターから指示に従ってください。
- ③ ヤマネコが動けず苦しんでいる場合は、必ず「つながる」の段ボールを用意してください。
- ④ 救助センターから救助隊の出発が確認できたら、必ず「つながる」の段ボールを準備してください。

大好評、ヤマネコ教室♪

今年度、全一六回行われたヤマネコ教室は総合学習の時間などでご利用頂いています。また、昨年度に引き続き下島の子どもたちに対する自然の素晴らしさを、それを守り伝えることを目的とした普及啓発事業が行われており、上島での保全事業体験として、ヤマネコセンターでの痕跡調査体験や神宮自然農園での生き物調査体験を行いました。この体験で、下島の子どもたちもヤマネコを身近に感じたと思います。



生き物調査の様子

下島だより⑥ ～「ツシマヤマネコ野生順化ステーション」内覧会～



山口 貴子

最原事務室勤務
アクティブレンジャー

10月29日、ついにツシマヤマネコ野生順化ステーションの順化ケージが完成しました！！この施設は一般公開されないのですが、施設の完成に合わせて地元の方に向けて内覧会を行い、老若男女問わず、合計65名もの方たちが訪れてくださいました。

完成した順化ケージを見た地元の方からは、「今回のような機会があればまた来たい」という感想もいただき、ツシマヤマネコの新たな取り組みに興味を持ってもらえたようでした。これからはヤマネコの訓練にむけ、内部の細かい部分を整備し本格的に準備を進めていきます。国内初の試みなので大変なことたくさんあると思いますが、頑張っていきたいと思っております！



レクチャーの様子



見学の様子①



見学の様子②

♪参加ありがとうございました！



第15回ヤマネコ・クイズ！

「つながるキャンペーン」とは何をするキャンペーンでしょうか？

佐護ヤマネコ稲作研究会



佐護ヤマネコ稲作研究会の公式HPはこちら！

<http://www.yamanekomai.com/>

昨年度は大好評につき、早々に売り切れてしまった佐護ツシマヤマネコ米ですが、10月から新米の販売が始まっています。9月にはヤマネコ米の認定田看板を新しく設置し、ヤマネコ米を作っている田んぼが一目瞭然！皆さんも佐護を訪れた時は、認定田看板を目印にヤマネコ米の田んぼを探してみてください。ツシマヤマネコに会えるかもしれませんよ♪

また、佐護ヤマネコ稲作研究会では今年度もオーナー制度を取り入れ、全国各地の皆様にもオーナーになって頂きました。最後のオーナーイベント稲刈りも10月18日に無事に終了し、沢山のお米を収穫しました。来年はあなたもオーナー制度に参加してみませんか？



オーナーの皆さんと



ヤマネコ米の認定田



一生懸命稲刈りです

対馬で頑張っている人にインタビューするコーナー！

No.03

対馬のあの人この人

佐護ヤマネコ稲作研究会と河内酒造のコラボ商品完成！！

ヤマネコ米を使ったお酒が河内酒造さんのご協力で完成しました！年末にお酒と佐護ツシマヤマネコ米の3号袋をセットにした、お歳暮セットも販売予定です。お楽しみに♪

※掲載している写真は、実際とデザインが異なる場合がございます。予めご了承下さい。



河内酒造合名会社 代表 伊藤 浩一 さん

対馬唯一の酒造である河内酒造は、昭和8年に合名会社として設立、現在で3代目になります。酒造りに決して適している環境とは言えない対馬だが、清酒『白燐』や焼酎『ヤマネコ』などのヒット商品を作り出しています。

●河内酒造とは？

●なぜツシマヤマネコ米でお酒を造ろうと思ったのか？

以前より対馬のお米でお酒を造るなら、佐護米で造りたいと思っていて、昨年、佐護ヤマネコ稲作研究会からお話を頂いたので、造ってみようと思いました。また、ツシマヤマネコにも興味があり、昔センターにも訪れたことはあるが、まだ本物を見たことがないので一度見てみたいと思っています。

●今後の目標は？

今後やってみたいことはたくさんあります。対馬で生産されたものを使って、色々なお酒造りに挑戦し、ヒット商品を出したいと思っています！

＊河内酒造＊

長崎県対馬市美津島町識知

TEL：(0920) 54-2010

HP：<http://kawachi.shop-pro.jp/>

編集後記

あっという間に冬になり、ヤマネコの救護シーズンになりました。今年も救護個体が少ないことを祈るばかりです…。



ツシマサンショウウオ

ツシマサンショウウオは、対馬の固有種で、民家の庭先などでも見られます。尻尾の黄色い筋模様が鮮やかで、先の繁縷に向かって、ベタベタと一生懸命を走っていました。

今日の一枚

★「ツシマサンショウウオ」の保護活動は、対馬の自然環境を守ることに貢献しています。

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

治療を乗り越え、飼育下繁殖へ！

2015 春号
No. 67

保護収容時

鶏小屋点検のお願い



ニワトリの健康と安全を守るために
おまわりをお願いします

点検員様へ



肉球転移手術の実施(右が現在)

鶏を守るためには補修工事が最適！

治療を乗り越え、飼育下繁殖へ！

二〇一〇年八月、オスのヤマネコが鶏小屋近くに仕掛けられたとらばさみに挟まれてしまい、ヤマネコセンターに収容されました。あれから四年、飼育下繁殖に貢献するため、その個体は今年一月に西海国立公園九十九島動物園へ導入されました。どうして今頃？と、疑問に感じる方もいるかもしれませぬ。もちろん、ただヤマネコセンターで飼育されていたわけではありません。ずっと治療が必要な状態が続いていたのです。

ワナにより左後肢を骨折し、筋肉や靭帯までも損傷していたため、当初から断脚を検討するほど酷い状態でした。しかし、野生に帰すことを目指して、複数回にわたり肉球を転移させる手術を実施しました。そうして治療に臨んできた結果、野生に戻すまでには回復できまじりましたが、断脚は免れ飼育下であれば支障なく生活できるまでになりました。今後は繁殖に貢献し、飼育下で子孫を残していってくださることを祈るばかりです。

現在、とらばさみは法律で使用が原則禁止されており、幸いこの個体以降、ヤマネコセンターにはとらばさみによる被害の報告は来ていません。ですが、今一度この個体をおして「とらばさみ」というワナが、動物たちにとっていかに悲惨で残酷なワナであるかを考えてもらえればと思います。

なお、ワナを仕掛けて一頭捕まえたとしても、また別の個体ややってきて小屋を襲う可能性があります。根本的解決にはなりません。鶏を守るためには、鶏小屋を補修し、壊れのない頑丈な小屋にすることが重要であることをご理解いただければと思います。

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分(入館は16時まで)までとなり、休館日は月曜日ですが、祝祭日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

対馬の環 News



ツシマヤマネコ懇談会を開催しました

林野庁、環境省、長崎県、対馬振興局、対馬市、対馬市教育委員会が構成するツシマヤマネコ保護増殖連絡協議会では、ツシマヤマネコの保護の進め方を定めたツシマヤマネコ保護増殖事業実施方針を、最新の生息状況調査の結果を踏まえて改定する予定です。

改定にあたり、市民の皆様にはヤマネコの生息状況や保護の取組みを知って頂き、今後の方針についてご意見を頂くために「ツシマヤマネコ懇談会」を一月三十一日に上対馬町、二月一日に厳原町でそれぞれ開催しました。

当日は、センター職員による保護の取組みや、実施方針改定案の説明を行ったほか、コウノトリ湿地ネットワーク代表の佐竹節夫氏から兵庫県豊岡市でのコウノトリの保護の取組について講演をして頂きました。その後の意見交換では、参加者から「シカの影響で山が荒れているので対策を強化すべき」「市民の関心をもっと高めるため普及啓発を継続して行うべき」などのご意見を頂きました。頂いたご意見については実施方針の改定に反映させていきます。貴重なご意見をありがとうございました。



懇談会の様子



佐竹氏による講演

シーグラスでクリスマスツリー作り

二月二日にヤマネコセンターでクリスマスマスイベントが開催され、島内各地から親子で二三名の方が参加してくれました。

今回のイベントは浜辺でよく見かけるシーグラスを重ね合わせ、クリスマスツリーを作りました。そこにヤマネコを書いたプラスチック板や綿、毛糸などで飾り付けを行いました。小さなお子さんはお母さんと一緒に頑張ってお手伝いしてくれました。自分好みのツリーの飾り付けを行い、個性あふれるクリスマスツリーが完成しました。



どんなのが出来るかな

土曜の日に参加しました！

一月一六日に厳原町で行われた、土曜の日のイベントにヤマネコセンターからブース出展をさせて頂きました。

ブースでは消しゴム判子や等重ぬいぐるみなど設置し、沢山の方が足を運んでくださいました。

また、手作りパネルを使ったヤマネコの特徴や生息環境、交通事故対策などのクイズを全四回行い、沢山の子どもたちが参加してくれました。

これからも島内各地の様々なイベントにお邪魔させて頂き、ヤマネコセンターを身近に感じてもらえたらと思います。



ブース内の様子

職員日誌②① ～マイブーム～

もうすぐ
新年度1年目♪



アクティブレンジャー
隆満 志香



みなさんこんにちは！調査研究担当の藤浦（かげうら）です。
対馬の冬は寒くて、なかなか家からもコタツからも出られませんわ…。そんな中ですが、私の中では今空前の「アウトドアブーム」が巻き起こっています。インターネットでなんでも買ってしまう時代の恐ろしいこと、ワンクリックでキャンプグッズをほいほいと購入してしまいました（寒いので、まだ外では使っていませんが）。釣り道具も徐々に買い揃え始めています。家の中で広げてかなり楽しんでいます♪

山も海も豊かな対馬で、勤務2年目の来年度はアウトドアを満喫するぞー！と室内で妄想しながら春の訪れを待つ。私の今日この頃でした。



色々買っちゃった！



テントも買っちゃった

センター用語

アクティブレンジャー……国立公園などの保護管理、自然解説などを担当する自然保護官補佐のこと。
ヤマネコセンターではヤマネコの交通事故対策、調査、普及啓発活動などを行っています。

やまねこ News

上島でも下島でも安全運転を！

ヤマネコの生息域はほとんど上島に限られています。

しかし、二〇〇七年に下島で二三年ぶりにヤマネコの生息が確認されて以降、近年下島でも継続して生息情報が得られていることをご存じでしょうか？

そこで対馬南警察と大船越中学校の生徒の皆さんにご協力頂き、上島と下島を繋ぐ万間橋付近で、下島へむかう車に向けてチラシ等の配布を行う「ツシマヤマネコ交通安全キャンペーン」を実施しました。

しかしその後、一月一日に下島北部の美津島町大船越で昨年春に生まれた亜成獣のオスが、一月十七日に上島の峰町佐賀で出産経験のある成獣のメスが交通事故で死亡してしまいました。

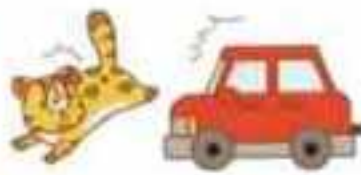
ヤマネコの交通事故は秋から冬にかけて多い傾向にあります。節にも発生しています。上島はもちろん、下島でも安全運転にご協力を宜しくお願致します！



キャンペーン中の様子



看板で呼びかけました



仁田小学校と比田勝小学校の皆さんが、ヤマネコ教室で学んだことを学習発表会で発表してくれました。

仁田小学校の皆さんは「ツシマヤマネコと対馬の自然」をテーマに、紙コップで生態系ピラミッドを作り、ヤマネコをなぜ守らなくてはならないかをしっかりと伝えてくれました。

比田勝小学校の皆さんは「守ろう、つながろう、対馬の自然」をテーマに、劇を交えながらヤマネコの特徴などをしっかりと伝えてくれました。

また、豆蔵中学校の皆さんも年間を通してヤマネコの学習に取り組んでくれました。ツシマヤマネコ野生順化ステーションでの造りこみ体験学習を二度行い、ヤマネコの野生復帰や対馬の自然を再現することの難しさに

ついて学んでくれました。そして、学習発表会では、ヤマネコについて学んだことをまとめ、素敵なナレーションを付けて発表してくれました。このように学んだことを、学校の行事などで発表してくれることが大きな普及啓発となつていきます。

ヤマネコ学習発表会！



豆蔵中学校の皆さん



比田勝小学校の皆さん



仁田小学校の皆さん

下島だより⑦ ～素敵なクリスマスツリー作りに挑戦！～



総務事務室勤務
アクティブレジャー
山口 貴子

ツシマヤマネコ応援団では、対馬島内で拾ったどんぐりで作った苗を植樹し自然林を増やすことで、ヤマネコをはじめとする対馬の自然と人との共生を目指す活動を行っています。

この活動の一環として、2013年にどんぐりの苗を植樹した親愛こども園で、昨年12月にイベントを開催し、約40名の子供が参加してくれました♪

まずはどんぐりとヤマネコのつながりもしっかりと復習し、どんぐりを使ってクリスマスツリーを作りました。個性豊かで素敵なクリスマスツリーが完成し、子供たちはとても楽しんでくれたようでした。ちなみに植樹したどんぐりの苗は、親愛の子供たちに見守られながら、順調にすくすくと育っています！

ツシマヤマネコ応援団とは？

ツシマヤマネコをはじめとする対馬の野生生物を守り次世代に引き継ぐことを目的として活動しているボランティア団体です。

<http://yamsnekoouendan.web.fc2.com/>



ツリー作りに挑戦！



まずはお話しを聞こう



ついに完成☆

第15回ヤマネコ・クイズ！の答え

答え：つながるキャンペーンは、ケガなどしているヤマネコの救命率を上げるためにセンターの電話番号の登録などをして、島民の皆さんと繋がるキャンペーンのことです。

ヤマネコセンターからのお知らせ



福馬 BIRTHDAY



TWCC ヤマネコ杯



対馬の魅力を再発見し皆様に伝えることを目的に、職員が対馬の魅力あふれる写真撮影に挑みました。

第1回目は『対馬の冬』をテーマに写真を撮り、2月の1ヶ月間センターで展示を行い、来館者の皆様に投票をして頂きました。

第2回の TWCC ヤマネコ杯は5月頃の展示を予定していますので、是非センターに足を運んでみてください。あなたの知らない対馬の魅力が見えてくるかも！



ヤマネコセンターで一般公開しているツシマヤマネコの福馬くんが4月3日に11歳の誕生日を迎えます！

そこで現在ヤマネコセンターでは、福馬くんへの誕生日メッセージを募集しています。是非、展示されている大きなケーキに福馬くんへのメッセージを書いて誕生日をお祝いしてあげてください♪

また、福馬くんの誕生日当日（平成27年4月3日）には、先着80名様に限定「福馬誕生日おパッケ」をプレゼントします。4月3日は福馬くんの誕生日をお祝いしにセンターにお越しください。



今回はヤマネコガムを作っている山田松月堂さんにインタビュー！

No.04 対馬のあの人この人



山田松月堂 四代目 山田 明代さん

●ヤマネコガムを作った理由は？

ガムを作るという話が出た際に、息外の人に対馬を分かりやすく伝えるものとして、ツシマヤマネコを選びました。ヤマネコは実は割製でしか見たことないのですが、耳の後ろの模様は特徴として作っています！

ツシマヤマネコガム 1個150円(税込)



●山田松月堂の創業

明治35年創業です。当時、万間瀬戸を作っている工事の人たちに、飴を売りに行ったのがお店の始まりです。

●地元食材を使い続ける理由

福岡で修行後、対馬に戻ってきた際に対馬でブルーベリーを作っていることを知り、感動したことがきっかけで、すぐに使い始めました。それ以来、これもある！あれもある！と地元の色々な食材を使った商品を作っています。

●今後の目標は？

作りたいものは多くあるのですが、本当にありすぎて…。ヤマネコも作りたいのですが、次は同じ対馬の動物である対州馬の新たな商品を考案中です♪

山田松月堂

長崎県対馬市美津島町鶏知甲494
TEL : (0920)-54-2038
営業時間 : 8:00 ~ 18:30
定休日 : 不定休

編集後記

実は私、対馬にくるまでは椎茸が苦手でしたが、対馬の椎茸はとても美味しく大好きになりました♪皆も食べてみんわ



ほだ木からなる椎茸

『対馬のどんこ椎茸』対馬の椎茸は、冬の厳しい寒さの中、原木野地でじっくりと育てられた、肉厚でよ質などんこ椎茸です。この写真の椎茸は、センターの裏に立てられた原木で育った、どんこ椎茸です。鍋料理、茶碗蒸し、天ぷらなど様々な料理に合います。職員のお昼ご飯の材料にちょうど食べ頃かな？

今日の一枚

とらやまの森

<http://kyushu.env.go.jp/twcc/>

ヤマネコセンター

4月からヤマネコセンターで普及啓発担当として働いています小宮さおりです。初めてのことはばかりですが、子どもたちや地域の方と一緒に、地元対馬について楽しく学んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

New!



事務補佐員
小宮 さおり



NPO法人
どうぶつたちの病院

4月から動物看護師として対馬動物医療センターとヤマネコセンターで勤務しています有川です。私は対馬出身ですので皆さんにお気軽に動物たちのことをご相談していただけるよう、積りになる看護師を目指して精一杯頑張ります！よろしくお願いします。

New!



動物看護師
有川 ゆう



退職・新職員のごあいさつ
みなさまどうぞよろしく申し上げます！

厳原事務室



退職

元自然保護官
吉田 裕司

「ヤマネコはただのネコちゃん？」と言われて始まった対馬生活。対馬の自然に少しでも関心を持って頂けたなら幸いです。2年間ありがとうございました。

4月から対馬市役所に移りましたので今後もよろしくお願いします。

New!



自然保護官
高辻 陽介

この4月から自然保護官として勤務しています高辻です。環境省には平成21年に入り沖縄で1年、名古屋で1年、霞ヶ関で4年を過ごしてきました。

ヤマネコ保護に向けて一生懸命頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

New!



アクティング
レンジャー
岩下 明生

4月からヤマネコ野生順化技術開発の担当として、厳原事務室に着任した岩下です。対馬には8年前にヤマネコセンターの夏季実習で来ました。初めての島暮らしで戸惑うこともあります。一日でも早く対馬に順化したいと思っています。

New!



事務補佐員
永井 香織

4月から厳原事務室に着任しました永井です。対馬の自然や生物など、まだまだ知らなかったことがたくさんあり改めて対馬の魅力を感じました。

学ぶことが多い私ですがどうぞよろしくお願いいたします。

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分（入館は16時まで）までとなり、休館日は月曜日ですが、祝祭日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

対馬の環 News



サントリー表彰式

佐藤ヤマネコ稲作研究会では昨年度、那須どうぶつ王国のレストラン「ツシマヤマネコ」米を使用し、河内酒造さんからツシマヤマネコ米を使ったお酒、清酒やまねこを販売して頂いたりと、活動の幅を広げていきました。

そして、今年度からはサントリー株式会社「世界愛鳥基金」より、水辺の大型鳥類保護部門での活動を支援して頂くことになりました。コウトリ・ツル・トキといった大型鳥類をはじめ、ヤマネコも人も安心して暮らせる環境を整えていくのが主な活動内容になります。水田魚道の設置から冬期湛水・裏作を行うべき場の餌資源や休息場を作っていくのが狙いです。また、普及啓発活動や野鳥の飛来数調査なども同時に行っていきたいと考えています。佐藤は日本でも屈指の野鳥観察地です。それでも、これまで培ってきた密みがあってこそのもので、本活動に関しても、これまで以上の「理解」と「協力」をお願い申し上げます。



サントリー表彰式

ステーション植樹&総会

ツシマヤマネコ応援団(以下、応援団)では、とらやまの森再生プロジェクトとして二月八日に順化ステーション内の植樹を行いました。将来ヤマネコを入れる予定のケージ内は、工事が終わったばかりで地面が剥き出しだったため、応援団が育てていた広葉樹の苗を植えることになりました。

応援団では、下島で培ったどんぐりから育てたコナラ、アカガシ、マテバシイなどの苗六〇本を育てており、二〇〇七年よりNPO法人対馬郷宿さんに管理していただいています。今回はこれらの苗すべてケージ内に植えることができました。まだ小さい苗木ですが、数年後にはケージ内を生物いっぱい空間にしてくれると期待しています。

また、四月二六日には、昨年度の活動を振り返りながら今年度の活動について話し合う総会を開催しました。

昨年度からの新しい団員さんたちとともに、今年度もみんなで活動を盛り上げていきますー



応援団活動中!



～植樹の様子～

職員日誌② ～日々精進～

みなさん、こんにちは。ヤマネコセンターで獣医をしています國吉です。気づけばもう対馬生活も二年半が過ぎました。

日頃、センターに引きこもっていることの多い私ですが、実は、上対馬町太鼓保存会「対馬愛鼓連」に所属しています。着任早々から参加させていただいているので、太鼓歴二年になります。初めは、ひたすらトントントンと、二拍子しか叩けなかった私も、最近ようやく、少しはリズムが打てるようになりました!先日、なんと前列での演奏デビューを果たしたんです(。)

ですが…、ビデオで見返してみると、動きは小さく、全くかっこよくない(T_T)今はまだ、ようやく叩けるようになったというだけで、人に素敵と思ってもらえる演奏をするまでには、だいぶ道のりは遠そうです。日々精進、これからも練習頑張ります。



対馬野生生物保護センター
アクティビティレンジャー
獣医師
國吉 沙和子



演奏デビュー!

センター用語

やまねこ News

TWCCヤマネコ杯!

対馬の魅力を再発見し皆様に伝えるために、職員自らテーマにあつた対馬の魅力あふれる写真撮影に挑む写真展「TWCCヤマネコ杯」を定期的に開催しています。第一回は今年の二月に「対馬の冬」をテーマに行い、第二回は五月に「対馬の春」をテーマに行いました。どの作品も対馬の魅力があふれるものばかりでした。さあ一次はどんな作品が出揃うのか!? TWCCヤマネコ杯にあなただの知らない対馬を探しに来てください!!



～第二回の様子～

つばきちゃんと一緒に

今年度四月より、二〇〇九年～二〇二二年までつしまる通信内で放送されていた、つばきちゃんと一緒が帰ってきました。第一、第三火曜日のつしまる通信内で放送を行っており、第二、第四火曜日には再放送が行われています。センター職員がつばきちゃんと一緒にヤマネコやヤマネコセンターの活動内容、センター主催のイベント募集など様々な情報を発信して行くので、是非チェックしてみてくださいね!



～撮影の様子～

つながるキャンペーン第三弾!

二〇一五年四月から実施している、第三弾のつながるキャンペーンでは、ヤマネコの特徴を理解してもらおうとを一番のポイントとし、クイズに挑戦してもらっています。これまで同様、携帯電話へのセンターの電話番号登録に加えて、虎耳状斑や額の縦縞など、ヤマネコの特徴をきちんと覚えてもらえたら嬉しいです。キャンペーン参加者には、シールや缶バッジのプレゼントもあります。是非、ご参加下さい。

ヤマネコ教室の案内

ヤマネコセンターでは、ヤマネコをはじめとする対馬の自然の豊かさを学び、島の自然を誇りに思う子どもたちの育成を目的に「ヤマネコ教室」を行っています。今年度より、貼もとし自然公園内にある、ツシマヤマネコ野生順化ステーションでもヤマネコ教室の受入れを開始します。また中高生を対象とし、対馬の自然環境を守る仕事を行っているセンター職員が、直接講義を行う「ヤマネコ講演会」も実施しています。将来の進路を考えるにあたり是非「活用」ください。

学校の授業はもちろん、PTA活動、島内のイベント、幼稚園等の施設で実施することも可能ですのでお気軽にご相談ください。

「質問・お申し込み連絡先」

0920-84-5577

普及啓発担当 志岡・小宮



ヤマネコ教室の様子

下島だより⑧ ～対馬と霧ヶ間の違い～



下島事務所勤務
自然保護官
高辻 剛介



下島事務所

下島の事務室には車で通勤しているのですが、特に夜の帰り道で、かなりの確率で野生動物(シカ、イノシシ、テンなど)に遭遇します。真っ暗な道と、突然姿を現す動物たちに、毎日ドキドキしています。

そして事務室は雄大な森に囲まれています。一方で霧ヶ間はビルの森、目に入るものが全然違います。ヤマネコの姿は残念ながらまだ目撃していませんが、今夜も目をこらして、来るべき日に備えています。



今日は何と違うかな?

第16回ヤマネコ・クイズ!

ヤマネコの交通事故が多くなる季節は、いつでしょうか?

答えは4ページをみてね! =>

飼育下繁殖に参加している動物園を紹介するコーナー！

今回の動物園♪

京都市動物園

僕らは
仲良し4人組♪

京都市動物園では、「近くて楽しい動物園」を目指して、平成21年からリニューアルがスタートし本年度で完了する予定です。昨春には、樹上性が高いニシゴリラの行動を再現した新施設「ゴリラのおうち」がオープンし、彼らの生き生きした様子をご覧いただいています。



また、2月末にはゾウの繁殖を目指して群れ飼育を行う、「ゾウの森」がオープンしました。こちらでは、ラオス人民民主共和国から寄贈された子ゾウ4頭が、毎日プールで水遊びをする姿など、可愛い様子を見せてくれています。そして、このリニューアル中に、ツシマヤマネコの繁殖施設（非公開）も建設し、今年1月には福岡市動物園、九十九島動物園で昨年誕生した1ペアがやって来ました。今後はツシマヤマネコの繁殖にも力を注いでいきます。新しく生まれ変わった京都市動物園に是非お越し下さい。



お問い合わせ先

京都市動物園

〒606-8333 京都市京都市左京区岡崎法橋寺町 TEL : 075-771-0210

写真提供(京都市動物園)

今回はシーカヤックのガイドをしている
対馬エコツアーさんにインタビュー！

No.05

対馬のあの人この人

●シーカヤックを通して感じる対馬の魅力は？

雄大な自然と歴史が同居しているところ！対馬のようにシーカヤックで1300年前の歴史を実際に見て感じられる場所はなかなかありません！

漂着ゴミに関する活動にも
力を入れています！

有限会社

対馬エコツアー

うえの よしき

上野 芳喜さん

●ガイド時に心がけていることは？

対馬の魅力を感じて楽しんでもらえるような解説をするようにしています。近年城山付近でヤマネコが確認されていることもお話ししていますよ！お客さんに自分の故郷を喜んでくれたときは、本当に嬉しいです！

●今後の目標は？

学校単位でのツアーの受け入れも行っており、1人でも多くの子どもたちに生まれ育った対馬の素晴らしさを知ってほしい。そして、その子どもたちがどこへ行っても対馬を自慢できるような、心に残る体験をしてもらえるよう、頑張っていこうと思います！

有限会社 対馬エコツアー

長崎県対馬市美津島町箕形29

TEL : (0920)-54-3595 Fax : 0920-54-3695

E-mail : seakayak@kacchali-tsushima.net

※定休日はなく

可能な限り要望に応じます。



編集後記

新しいセンター誌
調も増え、一層賑や
かになりました！新
体制で今年も頑張
りますので、よろし
くお願いします！



もえぎ色に染まる山

もえぎ色とは春の新
緑が萌え出る色だそう
です。まさに春の色です
ね。次はこの色が夏の
青々とした緑色に変わっ
ていくのが楽しみです。

今年の春はなんだか
雨が多く、残念なこと
に、一掃にして桜を散ら
す花散り雨となってい
まいました。しかし春
時雨は、山をいっせいに
もえぎ色に変えてくれ
ます。

今日の一枚
[F&E]

第16回ヤマネコ・クイズの答え！

ヤマネコの交通事故が多くなる季節は、子ヤマネコが親離れする秋から冬です。

とらやまの森

<http://kyushu.env.go.jp/twcc/>

ヤマネコの親子の とび出しにご注意を！！



保護当日



保護後46日目



島内各地に 子育て中のヤマネコがいます

六月一五日、上県町瀬田の国道三八三番御獄やまねこトンネル周辺で三頭の子ヤマネコとその母親が確認されました。その後、子ネコ一頭が取り残され衰弱していることが確認されたため、六月一九日に保護しました。子ネコはメスで、体温が低下し弱っていました。治療の結果、現在は回復しています。

また、保護地点から約一kmの位置にある御獄公園周辺では六月二六日、保護した子ネコの母親とは別のメスが交通事故で死亡しました。子育て中と考えられ、周辺に子ネコが取り残されている可能性があったので、子ネコの捜索と交通事故防止を目的に、緊急パトロールを実施した他、チラシを回覧したり、ケーブルテレビへ文字放送を依頼したりしています。残念ながら子ネコを見つけることはできませんでしたが、今回の調査で御獄公園周辺には二頭のメスが繁殖していたことや、他の個体も道路のすぐ近くを利用していることが判明しました。

今年は、島内の他の地域からも親子ヤマネコの目撃情報が複数寄せられています。母親が死亡した場合、子ネコの命も奪うこととなります。また、子ネコが大きくなるにつれ道路に飛び出す危険性も増します。御獄公園周辺に限らず、早朝と夕方は特に「むくむく」運転を意識していただき、次世代のヤマネコが無事育つことができるよう温かく見守っていただけたらと思います。また、ヤマネコを自撃したという方は対馬野生生物保護センター（電話番号 0920-084-5577）までご連絡をお願いいたします。

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分（入館は16時まで）までとなり、休館日は月曜日ですが、祝祭日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

対馬の環 News



イベント開催!

七月十一日には「田んぼで遊ぼう」というイベントを、田ノ浜ツシマヤマネコ共生農業実行委員会と共催で行い、田んぼでの生き物調査や泥んこ遊びなどをして楽しめました。

生き物調査では、カエルやアメンボ、ヤゴ、ドジョウなど様々な生き物を捕まえて観察し、泥んこ遊びでは、田んぼの中で綱引きや、リレーをして盛り上がりました。当日は、雨が心配でしたが、子供達の晴れパワーでなんとカ無事に終了することができました!



～田んぼで遊ぼう!～

七月二十九日には、対馬市青年の家主催のイベント「夏一子ども体験塾」でヤマネコの調査体験や、夜にライトを照らして昆虫を集めて観察する、ライトトラップを行いました。ライトトラップでは、ツシマヒラタクワガタなどを観察することができました。

また、八月一日には、ライトトラップで観察した昆虫たちの図鑑を製作しました。昆虫のスケッチや特徴、生感などを書いて自分だけのオリジナル図鑑が完成しました!



～調査体験の様子～

イベントへのブース出展★

五月十六日の「ふれあい処つしま」オープニングイベントでは、ヤマネコのパネルや消しゴム判子、ぬりえ、等重ぬいぐるみなどを置いたブースを出展したほか、つばきちゃんと一緒に開門式での風船を配りやイベント内の〇×クイズのお手伝いもさせて頂いていただきました。

六月二日の「あじさい祭り」では、会場内でブースを出展したり、クイズラリーを行いました。さらに、センターではバックヤード見学ツアーを行いました。

どのイベントのブースにもたくさんの方が足を運んでくださり、つばきちゃんもクイズやもち投げにも参加させて頂いたので、ありがとうございました。たくさんの方とふれあうことができ、とても楽しかったようです!

これからつばきちゃんと一緒に島内各地の様々なイベントにお邪魔させて頂いていただきたいと思います!



～大好評のスタンプ～



～バックヤード見学～

☆職員のごあいさつ☆

New!



野生動物ステーション 藤井 亮介

よろしくお願ひします

はじめまして!
今年5月に下島のツシマヤマネコ野生動物ステーションに着任しました藤井です。近年、対馬に侵入してきた外来種のツマアカスズメバチの対策を担当させて頂いています。生まれが東京で対馬の暮らしに戸惑うこともあります。対馬で働く事で貴重な経験ができると思います。まだまだ勉強中の身ですが、よろしくお願ひいたします。

退職



対馬野生動物保護センター アクティヴレンジャー 獣医師 国吉 沙和子

ありがとう!

みなさん、こんにちは。獣医師の国吉です。2012年に対馬に来てから3年弱。大変なこともありましたが、本当に楽しく仕事に励むことが出来ました。また仕事だけではなく地元の万々の優しさにも助けられ、充実した日々を過ごせました。本当にありがとうございました。今後は対馬から離れてしましますが、この3年間でできた「つながり」を大切にしながら、次のステップに進んでいきたいと思っています。

センター用語

飼育下繁殖……ヤマネコを動物園などで飼育をしながら繁殖させること



保護増殖事業実施方針の改定

ヤマネコの保護に関わる行政機関で構成するツシマヤマネコ保護増殖連絡協議会では、保護増殖事業の具体的な目標や方針を定めたツシマヤマネコ保護増殖事業実施方針を二〇一〇年三月に策定しました。

その後、最新の生息状況を踏まえて、二〇一五年五月に実施方針の改定を行いました。

改定した実施方針では、個体数の減少を食い止めることを当面五年間の目標として、上島では生息密度が低かった地域での原因の把握と対策を進めることや、下島での分布の拡大を目指すこととしています。特に重点的に取り組む対策としては、ツシマジカやイノシシ対策の推進、野外のヤマネコの個体識別を進め、より詳しく個体群の状況を解明すること、飼育下繁殖の技術の向上や人工授精など新たな手法の開発、企業にCSR（企業の社会的責任）活動の一環としてのヤマネコの保護への協力を呼びかけることなどが記載されています。

また、飼育下で産まれた個体を野生復帰させる必要が生じた場合に備えて、野生順化ステーションを拠点に今後取り組む内容をまとめた「第一次ツシマヤマネコ野生復帰技術開発計画」についても策定しています。

詳しくは、九州地方環境事務所
http://kyushuenv.go.jp/to_2015/27_3.htmlを「読」んで。

～会議の様子～



ヤマネコ交通事故に注意！

今年度は七月末までに既に三頭のヤマネコが交通事故で死亡しています。五月十五日には豊玉町嵯峨と、上県町瀬田でそれぞれ成獣オスが、六月二六日には授乳中とみられる成獣メスが上県町佐藤で死亡しています。授乳中とみられたメスの子ネコは、捜索を行いましたが見つけられませんでした。

春先の成獣メスは妊娠中または子育て中の可能性が高く、その死は子ネコの命をも奪います。過去には、お腹に二頭の子ネコが宿っていた母ネコも事故に遭い、命を落としています。

春に生まれたヤマネコたちが独り立ちする秋から冬にかけて、更に交通事故の危険性が高くなります。昨年度の交通事故は三件でした。既に今年度は秋を前に、その数に並んでしまいました。

また、以前は上島北部で多く発生していましたが、最近では上島の南部や下島でも発生しています。

これからの季節は全島で特に、安全運転をお願いします。

ケガをしたり、死んでいるヤマネコを見つけたら

ヤマネコ緊急ダイヤル

0920-84-5577

24時間受付いたします

下島だより④ ～順化ステーションでの出会い～

こんにちは。下島の岩下です。順化ステーションの背後には、龍良山の照葉樹原生林が広がっています。ヤマネコが野生復帰訓練をする順化ケージの中には、この原生林から流れる沢をそのまま利用している場所もあります。6月にケージ内の沢に行くと、素敵な出会いがありました。それはツシマサンショウウオの幼生との出会いです。ツシマサンショウウオは対馬の固有種で、きれいな水と流れがある場所で幼生は育つそうです。昨年度の工事の影響にも関わらず、サンショウウオの親たちはケージ内でひっそりと産卵していたようです。少しずつですが、順化ケージに対馬の自然が戻ってきています！！



野生順化ステーション
 アクティヴレンジャー
 岩下 明生



龍良山の原生林



ツシマサンショウウオ

第17回ヤマネコ・クイズ！

ヤマネコセンター以外で、ヤマネコが飼育されている動物園は全国にいくつあるでしょう？

答えは4ページをみてね！⇒

飼育下繁殖に参加している動物園を紹介するコーナー！

今月の動物園 名古屋市東山動植物園

名古屋市東山動植物園は、名古屋の中心部から地下鉄で15分ほどにある森に囲まれた動物園です。総面積60haのエリアには動物約50の種を展示しており、メダカからゾウまで楽しめる動物園として毎年200万人以上の方が来園されます。

現在は再生プランが進行中で、アジアゾウの飼育展示施設ゾージアムやツシマヤマネコ舎、アメリカ大陸エリア等を次々とオープンしています。また、絶滅危惧種等の繁殖にも力を注いでおり、アジアゾウやコアラ、ゴリラをはじめたくさんの赤ちゃんに出会うことができます。



お問い合わせ先

名古屋市東山動植物園

〒464-8184 愛知県名古屋市千種区東山元町3-78 TEL: 052-782-2111

写真提供(名古屋市東山動植物園)

今回はヤマネコのピンバッジなどの
シルバーアクセサリーを制作している
KOMIYA SILVERさんにインタビュー！

No.06
対馬のあの人この人

シルバー細工を始めたきっかけは？

学生の頃に学んだ歯科技工の技術を使って作ったシルバー細工が好評だったのが始まりで、今年で2年目になります。



ネックレス 12,000円



ピンバッジ 13,000円



リング 10,000円



リング 10,000円

一番大変なことは？

銀を型に流す前に一度ロウで作品を作り、専用の台座と作品を、溶けたロウで接着させるのですが、手が滑ると作品を溶かしてしまいます！

今後の目標は？

対馬にしかないものをモチーフにした作品をたくさん作って、シルバー細工を対馬の売りのひとつにしていきたい。そして今の作業場を仕事場にしていきたい！

KOMIYA SILVER

TEL: (098)-5933-8583

E-mail: wofs4565@gmail.com

※デザインなどお気軽にお問い合わせください。



代表 小宮 翔さん
KOMIYA SILVER



KOMIYA SILVERさん
ありがとうございました！

編集後記

今年の夏は全国的に暑くて大変でしたね。そろそろ涼しくなることに期待して、お仕事頑張らしましょうね♪



士富のホタル

今日の一枚
『ゲンジボタル』
毎日暑いですが、こんなときはつい涼しいところに行きたくなります。
少し前ですが、六月にゲンジボタルを観に嵐原町の土富まで行ってきました。「おらは、毎年お邪魔させていたのですが、これだけ多くの個体が見られるのは住民の方々のホタルに対するやさしさがあるからこそだ」といつも感じます。

とらやまの森

<http://kyushu.env.go.jp/twcc/>



とら やま
10月8日は
ツシマヤマネコの日!

ツシマヤマネコの別名である

『とらやま』にちなんで10月8日をツシマヤマネコの日と制定しました★

2015 冬号
No. 78



動物園での
イベントの様子

動物園で
行っている
スタンプラリー

ヤマネコセンター
で行った
とらやま祭り



〇×クイズ中...



スタンプラリーを
楽しむ参加者



しそ人形作りを
楽しむ参加者

ヤマネコ型
しそ人形



＊写真提供＊
名古屋市
東山動物園 (右下)
対馬市役所 (左上)

皆さんは「ツシマヤマネコの日」を知っていますか？
「ツシマヤマネコ」の保護に取り組み行政機関で構成する
「ツシマヤマネコ」保護増殖連絡協議会(事務局九州地方
環境事務所野生生物課)は、今年度から「ツシマヤマネコ」
の別名である「とらやま」にちなんで、10月8日(10月8
日)を「ツシマヤマネコの日」と決めて、「ツシマヤマ
ネコ」保護を広く呼びかける「ツシマネコの日」
「ヤマネコセンター」では10月10日(土)11日(日)と
「とらやま祭り」10月8日は「ツシマヤマネコの日」とい
うイベントを開催しました。当日は、居石美津子さんを
講師に迎え、紙粘土と和紙で作るしそ人形でヤマネコ
を作ったり、ヤマネコの特徴や生態に関する〇×クイ
ズ、那須どうぶつ王国の佐藤園長の講演会などが行わ
れ、1日間で218名の参加があったと報告しました。
また、島外でも対馬と「ツシマヤマネコ」に関するイベン
トの開催や普及啓発の取り組みが行われています。
日本全国の動物園が加盟する、(公社)日本動物園水
族館協会の協力を得て、「ツシマヤマネコ」を飼育する九つ
の動物園とヤマネコセンターを巡るスタンプラリーが
始まっています。スタンプの数に合わせてオリジナルタ
オルなどの景品がもらえ、全ての施設を巡ると佐藤ツ
シマヤマネコ米一年分がもらえます！また、対馬で「ツシ
マヤマネコ」の保護に取り組んでいる人たちへの応援メッ
セージの募集も同時に行っています。今後も「ツシマヤマ
ネコ」の日を記念するイベントを毎年開催していく予定
ですので、皆さんも是非10月8日は「ツシマヤマネコ
の日」を覚えておきましょう。

ツシマヤマネコを
もっと知ってもらうために

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分(入館は16時まで)までとなり、休館日は月曜日ですが、祝祭日の場合は開館し、翌日が休館日となります。
年末年始は12月28日～1月4日まで休館です。

対馬の環 News



オーナーイベント★

佐藤ヤマネコ稲作研究会では、一〇月四日の夜に田んぼを回りヤマネコを探すナイトセンサスイベント、一〇月一七日にはオーナー田の稲刈りイベントを行いました。

ナイトセンサスでは、速く

でしたが双眼鏡でしっかりとヤマネコの姿を確認することができました。

稲刈りでは大きく肩った稲の手狩り体験を行い、農家さんに教わりながらみんなで収穫を行いました。来年は皆様もオーナーになって様々な体験と一緒にしてみませんか？



ヤマネコみつけた！

田んぼの楽校♪

佐須奈小学校の子ども達が一年間を通して活動を行ってきた田んぼの楽校ですが、ついには一〇月二日にお米の収穫を行いました。みんな慣れた手つきで鎌を使い、上手に収穫を行いました。子ども達は一年間の活動で、作業の大変さ、生産物への感謝の気持ち、収穫への喜びを感じる事ができたことと思います。



稲刈りの様子

三学期には発表会で、一年間学んだことを様々な題材に分かれて発表してくれそうです。

動物愛護週間♪

動物愛護週間に合わせて九月一九日に「わんにゃんフェスティバル」が開催されました。今年度は、昨年度と同じく行われた、ふれあい動物園や対馬馬の乗馬体験などに加え、ペットのお悩み相談室や野生動物対策ブース、自慢のペット写真展なども行われました。会場には三五〇人以上の来場者があり、大盛況となりました！ペットの適正飼養は、野生動物の保護にも繋がります。生き物の適正飼養の大切さ、命の大切さを改めて感じてもらえる機会となったのではないのでしょうか。

科学イベント☆



ふれあい動物園

八月三日、佐世保工業高等学校と共催でサイエンスコミュニケーション「ヤマネコと科学しよう」を開催しました。ヤマネコと科学？と思われるかもしれませんが、ヤマネコの調査研究に欠かせないのが科学です！ロボット操縦などが体験できるブースの他に、様々な分野の専門家からお話を聞けるサイエンスカフェを行いました。体験しながらヤマネコと科学の繋がりを知ってもらえたのではないのでしょうか。



ロボット製作体験中

職員日誌⑳ ～運動会～

こんにちは。普及啓発を担当しています小宮です。
4月からヤマネコセンターに勤務して9ヶ月が経ちました★
ドキドキしながらヤマネコ教室を行ったり、色々なイベントに参加し、子ども達や地域の方と沢山の出会いがありました！
9月20日には、つばきちゃんと一緒に佐須奈小中学校の運動会へ★職員それぞれ飛び出し注意のTシャツを着て、ヤマネコの帽子をバトン代わりに職場対抗リレーに参加しました！色々な職場の特徴などがアピールされていて、とても賑やかなリレーでした。また、色々な動物たちもいてつばきちゃんも気合いが入ってたみたいです♪



対馬野生動物保護センター
事務補佐員
小宮 杏乃



職場対抗リレー

全力で走ることがしばらくなかったので、次の日には筋肉痛になりましたが…また、つばきちゃんと参加したいです！

センター用語

垂成獣……幼獣(子ども)と成獣(大人)の間のヤマネコのこと

やまねこ News

ツシマヤマネコ交通事故 多発警報発令中!

秋冬になると、ヤマネコは子ネコの独り立ちやメスを求めてオスの行動範囲が広くなることにより、交通事故や救護が多くなります。

そのため、ヤマネコの交通

事故防止対策として、交通安全キャンペーンに参加したり、ツシマヤマネコ応援団と協働で「ツシマヤマネコ交通安全ポスター展」を行うなど、様々な方法で普及啓発が行われています。しかし、残念なことに今年度は既に六頭のヤマネコが交通事故により、死亡しています。過去最悪を記録した二〇一一年度よりも早いペースです。そのため、環境省、長崎県、対馬市では「ツシマヤマネコ事故多発警報」を発令し、広く交通事故防止を呼び掛けています。万が一、「ヤマネコ」を飼っていましたか！そんな時は慌てず、対馬野生生物保護センター(0920-84-5577)まで「ご連絡下さい。その電話で助かる命があるかも知れません。また、朝晩は

ヤマネコの活動も活発になりますので、全島で安全運転にご協力をよろしくお願ひ致します。



追跡調査終了

ヤマネコセンターでは、ケガや衰弱により保護されたヤマネコを治療し、再び野生に復帰させ、その後無事に生きていけるかを確認する追跡調査を行っています。

先日、かつてセンターに保護され、野生復帰したMr.08(オス)、Mr.02(オス)の二頭のヤマネコの追跡調査を終了しました。Mr.08は、二〇一四年一月美津島町芦浦にて衰弱のため保護され、同年七月から野生復帰しました。もう一頭のMr.02は、二〇一三年一月上対馬町比田勝にて交通事故に遭ったところを保護され、同年七月から野生復帰しました。Mr.02は交通事故に遭ったところを発見者の方に救護され、一命を取り留めた珍しいケースでした。検査捕獲の結果、二頭の健康状態に問題がなかったため、八月一六日(Mr.08)、一〇月六日(Mr.02)の追跡調査を終了しました。



これから冬にかけて、オスのヤマネコは繁殖相手を求め広い範囲を動き回ります。この二頭も繁殖に参加できればうれしいですが、活発に動くことで交通事故や民家の鶏小屋被害の危険性も増します。

みなさま、島内各地での安全運転と鶏小屋の点検・補修にご協力をお願いします。

下島だより⑩ ~ケージ内の植物~



野生化ステーション
ツシマアカスズメバチ
対策担当
藤井 亮介

秋も深まっていたある日、下島にある野生順化ステーションのケージ内に「ナンバンギセル」という寄生植物を見つけました。漢字で書くと「兩室煙管」と書き、15cmほどの柄の先の筒状の花がキセルの形に似ているため、この名がついたそうです。古くは万葉集の歌にも「思草」(おもいぐさ)の名前で登場します。この植物は、自身で葉緑素を持たないため光合成ができないため、ススキなどの根に寄生し、養分を吸収します。そして秋頃になると寄生主の近くから赤紫色の花が出てくるちょっと変わった植物です。

ケージ内には様々な植物が生えているので、季節とともに移り変わるいろいろな変化も見逃さないようにしたいですね。



第18回ヤマネコ・クイズ!

ヤマネコにとって冬は、何の季節でしょうか?

答えは4ページをみてね! =>

飼育下のヤマネコの移動について

環境省と（公社）日本動物園水族館協会が連携して、国内9カ所の動物園でツシマヤマネコの飼育下繁殖事業に取り組んでいます。

飼育下のツシマヤマネコの遺伝的多様性を維持するために、定期的に個体を移動させて新たなペアでの繁殖を試みています。今年度も9頭を移動させる予定です。このうちヤマネコセンターからは、No.70（オス）と今年度上乗町で保護されたFe-71（メス）をそれぞれ九十九島動物園と福岡市動物園に移動しました。

来春の繁殖成功を目指して、各動物園での懸命な取組が始まっています。

●移動するツシマヤマネコ一覧●

個体番号	年齢	性別	移動前	移動後
Fe-71	0	メス	対馬野生生物保護センター	福岡市動物園
No.22	11	オス	井の頭自然文化園	よこはま動物園
No.29	11	オス	富山市ファミリーパーク	九十九島動物園
No.37	9	オス	九十九島動物園	富山市ファミリーパーク
No.39	9	メス	福岡市動物園	井の頭自然文化園
No.40	8	オス	福岡市動物園	名古屋市東山動物園
No.41	8	オス	福岡市動物園	京都市動物園
No.43	14以上	オス	富山市ファミリーパーク	井の頭自然文化園
No.70	6以上	オス	対馬野生生物保護センター	九十九島動物園



九十九島動物園
に行くNo.70



福岡市動物園
に行くFe-71

今回は対馬の観光ガイドをしているホテル対馬の岩佐さんにインタビュー！

No.07 対馬のあの人この人

対馬のお勧めの景色を教えてください

豆酸崎の夕日です。夕日が常敵なのはもちろん、日によって風が強いだったり、時化ていたり海の表情も豊かです。他にも自然、文化、歴史と対馬には数え切れない魅力があり、とても神秘的な島です。

観光コースの「対馬やまねこコース」とは？

ヤマネコの数は推定で70頭または100頭しかいない、対馬の上島の方が数が多いなど、ガイドの中でヤマネコについてご説明しています。ちなみに私自身は野生のヤマネコを見たことはないです。

株式会社ホテル対馬
タクシー事業部
女性専用専用ドライバー
いわさ としえ
岩佐 利枝さん



心がけていることは？

最近女性の一人旅が増えているので、安心して楽しんで頂けるように女性スタッフとして私がご案内しています。ご要望に応じて、通常コース以外の場所をご案内することもあります。個人旅行の良いところですね。

今後の抱負を教えてください！

対馬の魅力を地元の方々、子どもたちに伝えていきたいです。たとえば、対馬では普通に見れるホテルですが、都会ではなかなか見ることができません。せっかくの魅力を知らないままではもったいないです。

岩佐さん
ありがとうございました！



株式会社ホテル対馬

長崎県対馬市厳原町今屋敷765
TEL：(0920)-52-0500
女性専用回線：0920-52-7711

編集後記

飼育していたヤマネコたちが繁殖のため動物園に移動しました。寂しいですが、動物園でも元気でいてね！



たくさんのカモたち

今日の一枚
『冬の訪れ』
あちらこちらに川でカモの群れを見かけるよつになる。冬の訪れを感じます。カモの群れをよく見てみると、何種類かのカモが見られます。オシドリと一緒にいることもありま
す。
みなさんの近くの川や池には何種類のカモが訪れているでしょうか。覗かずに近づくとカモたちをみつけに行ってみませんか？

第18回ヤマネコ・クイズの答え！

冬は、繁殖期になります。恋の季節なんです！オスがメスを探し広い範囲を動き回ります。